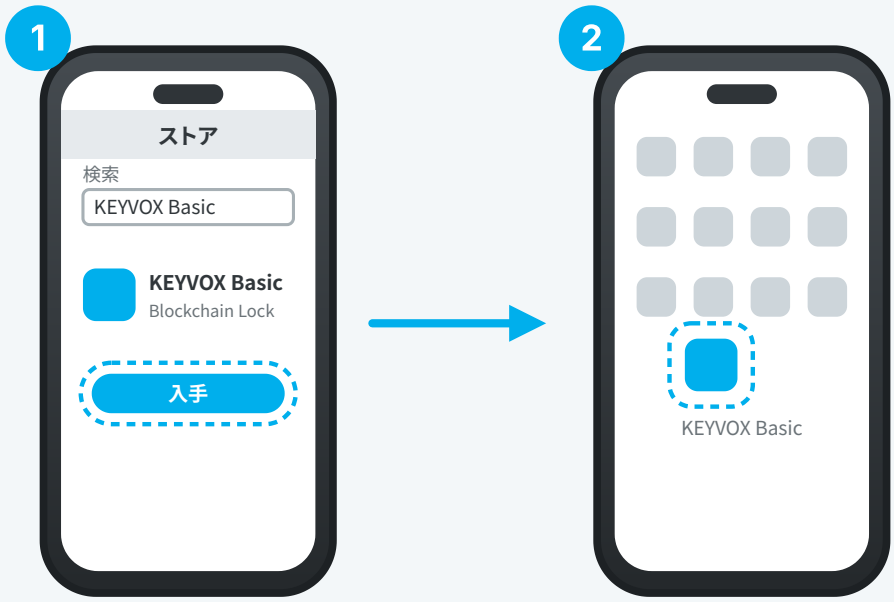


APP SETUP MANUAL

アプリ設定マニュアル 総合版

KEYVOX Basic アプリの準備、機器の登録・ペアリング、Wi-Fi、カギの配布、保守までを 1 冊にまとめました。取り付けが終わったあと、上から順に進めます。

MODELS
BCL-QR1 LE / PiACK II / BCL-BR1 / BCL-BX1 / BCL-WD1 / KEYVOX Locker

DOCUMENT NO.
KV-A00

REVISED
2026年11月10日

WEB MANUAL

ABOUT THIS MANUAL

このマニュアルについて

KEYVOX Basic アプリの準備、機器の登録・ペアリング、Wi-Fi、カギの配布、保守までを 1 冊にまとめました。取り付けが終わったあと、上から順に進めます。

収録している内容

章	内容	対象の機器	目安時間
01	**KEYVOX Basic を準備する**	QR1 LE	約10分
02	**QR1 をアカウントに登録する（管理者暗証番号の設定）**	QR1 LE	約10分
03	**QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐ**	QR1 LE・PiACK II Smart・BR1 電気錠モジュール・BX1 キーボックス・WD1 有線LANモジュール	約15分
04	**QR1 LE とセサミをつなぐ**	QR1 LE	約30分
05	**BX1 をアプリで使う（KEYVOX Basic）**	BX1 キーボックス	約10分
06	**インターネットにつなぐ（Wi-Fi・同期の設定）**	QR1 LE	約15分
07	**QR1 の本体設定を変える**	QR1 LE	1 項目あたり約5分
08	**カギを配る（アプリ・ロッカー・予約）**	QR1 LE・スマートロッカー	約15分
09	**動作のカスタマイズ（高度な設定）と活用例**	QR1 LE	約10分
10	**その他の機器・連携（Akuvox・仮想ロック）**	QR1 LE	各10分
11	**日常の保守（ファームウェア・電池・本体コマンド）**	QR1 LE	—
12	**交換・削除・初期化**	QR1 LE・PiACK II Smart・BR1 電気錠モジュール・WD1 有線LANモジュール・BX1 キーボックス	—

記号の見方

注意 必ず守ること

守らないと、故障・やり直し・思わぬ動作につながることがあります。

補足 知っておくと役立つこと

作業のコツや、状況によって変わる点を説明します。

図の青い部分

作業する人が行う動きと、注目する場所を青で示します。

最新版は Web でご覧いただけます

Web 版では、届いた状態と扉の種類を選ぶと、必要なガイドだけが作業の順番に並びます。手順は改良に合わせて更新しています。

keyvox.co/manuals

CONTENTS

目次

– ご使用上の注意 9

CH.01 KEYVOX Basic を準備する 10

1 アプリをインストールする 10
2 ログインする 11
3 アカウントを新しく作る（新規登録） 11
4 QR1 の設定メニューを開く 12

CH.02 QR1 をアカウントに登録する（管理者暗証番号の設定） 14

1 管理者暗証番号について 14
2 届いた状態を確かめる 15
3 QR1 を登録する 15
4 管理者暗証番号を変える 18
5 管理者暗証番号を忘れたとき 19

CH.03 QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐ 20

1 届いた状態を確かめる 21
2 ロックを選択する 22
3 機器ごとにつなぐ 22
4 インターネットの設定に進む 29
5 施工業者が取り付けた場合 30

CH.04 **QR1 LE とセサミをつなぐ** 31

1 始める前に 31
2 セサミを設定する 32
3 セサミのオーナー鍵の QR コードを発行する 33
4 QR1 の準備をする 34
5 QR1 とセサミをペアリングする 35
6 動作を確かめる 36
7 オートロックを設定する（任意） 37
8 SESAME Biz と連携する（任意） 38

CH.05 **BX1 をアプリで使う（KEYVOX Basic）** 39

1 アプリを準備する 39
2 BX1 とペアリングする 40
3 BX1 のメニューを開く 41
4 カギをシェアする 42
5 あとからカギを送る・編集する 44
6 シェアされたカギを受け取る 45
7 オートロック時間を変える 45
8 通信設定を最適化する（半年に一度） 46
9 ファームウェアを更新する 46
10 アカウントから BX1 を削除する 47
11 困ったとき・よくある質問 48

CH.06 **インターネットにつなぐ（Wi-Fi・同期の設定）** 50

1 つなぐ前に確かめる（ネットワークの条件） 50
2 アプリで Wi-Fi を設定する 52
3 接続を確かめる 54
4 MAC アドレスを確かめる 55
5 通信が止まったときに気づけるようにする 55
6 ファームウェアを最新にする 56

CH.07 **QR1 の本体設定を変える** 57

1 共通の流れ（アプリで選ぶ → 本体で読み取る） 57
2 BCL-QR1本体設定の項目 58
3 本体に直接暗証番号を登録する（臨時用） 60
4 暗号化キーを変える（高度な設定） 61
5 配ったオフライン QR を無効にする 62

CH.08 **カギを配る（アプリ・ロッカー・予約）** 63

1 カギの種類を選ぶ 63
2 アプリにオフラインQR を出す 64
3 アプリにユーザーQR を出す 65
4 ロックとロッカーを同じ QR で開ける 66
5 予約したゲストに Wi-Fi 解錠を許す 67
6 （ベータ）オフライン暗証番号を API で発行する 68

CH.09 **動作のカスタマイズ（高度な設定）と活用例** 70

1 設定の意味を知る 70
2 活用例: 自社の QR コードをカギにする 73
3 活用例: 読み取った QR の内容を自社システムに送る 74
4 活用例: 本体に印刷された QR の遷移先を変える 75

CH.10 **その他の機器・連携（Akuvox・仮想ロック）** 76

1 Akuvox を登録する 76
2 テスト用の仮想スマートロックを登録する 77

CH.11 **日常の保守（ファームウェア・電池・本体コマンド）** 78

1 ファームウェアを最新に更新する 78
2 電池残量を確かめる 79
3 本体のキーで行うコマンド 80

CH.12 交換・削除・初期化 82

1 始める前に 82

2 QR1 のペアリングを削除する 83

3 本体・ロックを交換する 84

4 本体設定を初期化する（リセット） 86

付録 よくある質問 88

SAFETY & HANDLING

ご使用上の注意

安全に、長くお使いいただくための注意事項です。取り付けの前に必ずお読みください。

警告
守らないと、火災・感電・けがにつながるおそれがあります。

注意
守らないと、故障や、解錠できなくなる原因になります。

お願い
長く安心してお使いいただくために。

警告 安全のために必ず守ること

- 本体・AC アダプターを分解・改造・修理しないでください。
- 付属の AC アダプターと専用ケーブル以外は使わないでください。指定の電圧以外で使うと、発熱・故障の原因になります。
- 濡れた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。ケーブルを傷つける・無理に曲げる・重いものを載せることも避けてください。
- 煙が出る・異臭がする・異常に熱いときは、すぐに電源（AC アダプター・電池）を外し、サポートへご連絡ください。
- 電気錠・自動ドアの制御盤への配線は、電源を切った状態で、電気工事の知識のある方が行ってください。

注意 非常時の備え

- 電池切れ・停電・通信の不調・故障に備えて、物理鍵などの非常用の解錠手段を必ずご用意ください。物理鍵は室内に置いたままにせず、すぐ取り出せる場所で保管してください。
- 電気錠・自動ドアでは、解錠できなかった場合の解錠方法（非常用の解錠ボタンなど）を、メーカーまたは施工店と相談のうえご用意ください。
- 管理者暗証番号は第三者に知られないように管理し、初期の番号のまま使わないでください。

注意 設置する場所

- 仕様に記載の温度・湿度の範囲で、直射日光が当たらず、結露・氷結しない場所に設置してください。
- BR1・WD1 には防水性能がありません。屋内に設置するか、屋外では防水ボックスに収めてください。
- QR1 LE・BX1 は防水（保護等級5）ですが、水没や高圧洗浄には耐えません。BX1 の防水は扉を閉じた状態に限ります。
- Bluetooth・Wi-Fi は、金属の扉・コンクリートの壁・分電盤などで弱くなります。機器どうしは見通し 2m 以内を目安に設置してください。
- 電子レンジや他の無線機器の近くでは、通信が不安定になることがあります。

注意 電池について

- 新しい単三形アルカリ乾電池を使い、＋と－の向きを確かめて入れてください。
- 新旧の電池、種類やメーカーの違う電池を混ぜて使わないでください。交換するときは全部を同時に替えてください。
- 電池残量の通知が届いたら、早めに交換してください。長期間使わないときは電池を取り出してください。
- 液漏れした電池には素手で触れず、拭き取ってから新しい電池に交換してください。

お願い 日常のお手入れ

- 汚れは、乾いたやわらかい布か、水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭いてください。
- シンナー・ベンジン・アルコールなどの溶剤や、研磨剤は使わないでください。表面や文字が傷みます。
- QR コードの読み取り窓とキーパッドは、汚れや水滴が付いたままにしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

お願い ご利用にあたって

- ファームウェアとアプリは最新の状態でお使いください。動作の安定化や不具合の修正が含まれます。
- 機器を譲渡・廃棄するときは、アカウントから機器を削除し、初期化してください。
- 廃棄するときは、電池を取り外し、お住まいの自治体の区分に従ってください。
- 保証の期間と条件は、製品に同梱の保証書をご確認ください。

CHAPTER 01

01 KEYVOX Basic を準備する

QR1 の登録や設定に使うスマートフォンアプリ「KEYVOX Basic」をインストールし、ログインします。KEYVOX で設定済みで届いた場合は、KEYVOX と準備したアカウントにログインします。アカウントがまだない場合だけ、携帯電話番号で新しく作ります。あわせて、QR1 の設定を変えるときの入口になる「⋮」→「設定」のメニューと、各項目の役割をまとめます。

アプリ設定　QR1 LE

目安時間

約10分

用意するもの

- スマートフォン

始める前に

- KEYVOX と準備したアカウントの携帯電話番号とパスワード（新しく作る場合は、SMS を受け取れる携帯電話番号。050 で始まる番号などは使えません）
- スマートフォンの Bluetooth がオンになっていること

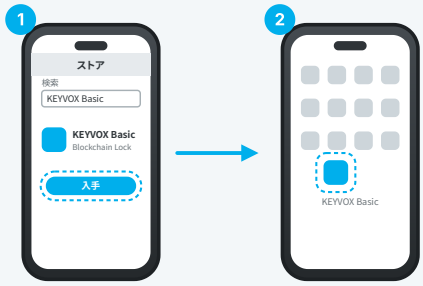
STEP 01

1 アプリをインストールする

1.1 KEYVOX Basic をインストールして起動する

1. App Store または Google Play で「KEYVOX Basic」を検索し、インストールします。
2. ホーム画面の「KEYVOX Basic」のアイコンを押して起動します。

> **補足** アプリは最新版にしておきます。古い版では一部の機器とつなげないことがあります。



STEP 02

2 ログインする

KEYVOX で設定済みで届いた場合は、KEYVOX と準備したアカウントがあります。新規登録はせず、そのアカウントでログインします。

2.1 ログインして組織を選ぶ

1. 国を選び、携帯電話番号とパスワードを入れて「ログイン」を押します。
2. 左上のメニューを開き、KEYVOX サービスを申し込んだ組織（施設名・企業名）を選びます。

> ⚠ **注意** 組織を選び間違えると、別の組織の機器を操作することになります。操作の前に必ず確かめてください。



STEP 03

3 アカウントを新しく作る（新規登録）

アカウントがまだない場合だけ行います。アカウント（BCL ID）は携帯電話番号が ID になります。登録の途中で SMS の認証コードを受け取ります。

3.1 新規登録の画面に必要なことを入れる

1. ログイン画面の「新規登録」を押します。
2. 国を選び、携帯電話番号とパスワードを入れます。
3. 「画像の文字」に、画像に出ている4文字の英数字を入れます。
4. 「認証コード取得」を押します。

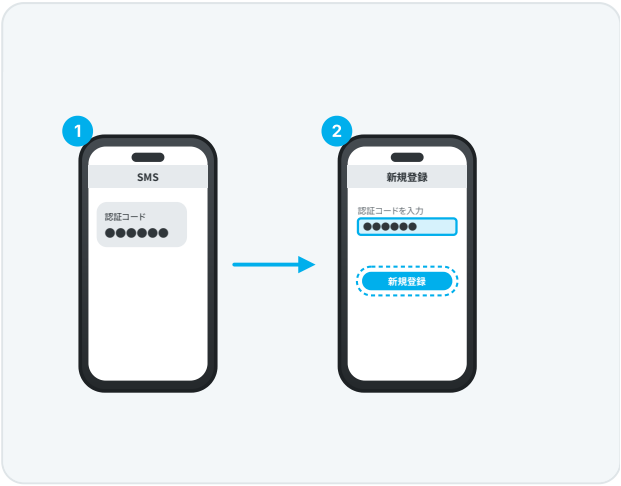
> ⚠ **注意** 携帯電話番号で作ったアカウントと、Google・Apple のログインで作ったアカウントは別のアカウントになり、あとからまとめることはできません。KEYVOX サービスを申し込んだアカウントで使ってください。



3.2 SMS の認証コードを入れて登録を終える

1. SMS で届いた認証コードを「認証コードを入力」に入れます。
2. 「新規登録」を押すと、そのままアプリにログインします。

> ⚠ **注意** SMS を受け取れない番号（050 で始まる番号など）では、KEYVOX サービスを利用できません。



STEP 04

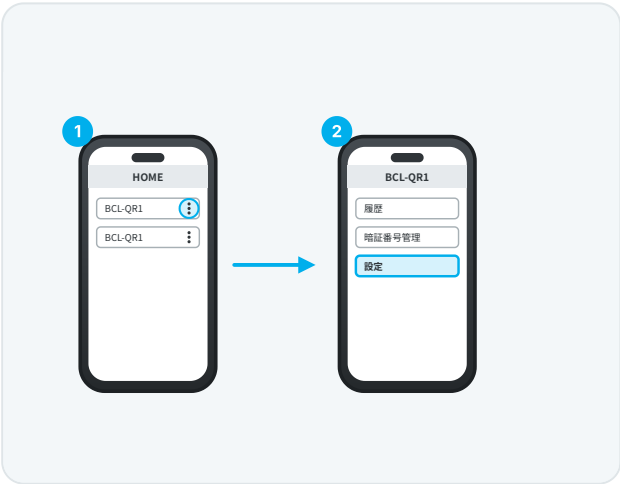
4 QR1 の設定メニューを開く

QR1 本体の設定は、すべてこのメニューから始めます。

4.1 「⋮」から「設定」を開く

1. デバイスの一覧で、設定を変えたい QR1 の「⋮」を押します。
2. 「履歴」「暗証番号管理」「設定」のメニューが出ます。
3. 「設定」を押すと、設定の項目が一覧で出ます。

> ℹ **補足** 「履歴」は簡易的な開閉履歴で、「暗証番号管理」は簡易的な暗証番号の発行です。詳しい履歴の確認や大事な暗証番号の発行は、WEB 管理画面（BACS）で行います。



4.2 本体と暗証番号の項目

1. 「名前変更」：アプリに表示される QR1 の名前を変えます。
2. 「BCL-QR1本体設定」：時刻・音量、ロックアウト、のぞき見防止などを変えます。
3. 「管理者暗証番号管理」：管理者暗証番号を変えます。
4. 「暗号化キー変更」「オフラインQRの削除」：オフライン QR の鍵の変更と、発行済みのオフラインQR の無効化です。



4.3 つなぐ・保守の項目

1. 「ロックの設定」：つなぐロックを選び直し、ペアリングします。
2. 「インターネット接続設定」：Wi-Fi と同期の頻度を設定します。
3. 「ファームウェア更新」：QR1 のファームウェアを最新にします。
4. **動作のカスタマイズ**：QR を読んだあとの動作などを変える高度な設定です。

4.4 削除・初期化の項目

1. 「リセット」：QR1 本体の設定を初期化します。
2. 「BCL-QR1の削除」：QR1 をアカウントから外します。

> ⚠ **注意** どちらも元に戻せません。使う前に**交換・削除・初期化**を読み、わからない場合は KEYVOX サポート（support.keyvox.co）にお問い合わせください。

CHAPTER 02

02 QR1 をアカウントに登録する（管理者暗証番号の設定）

KEYVOX で設定済みで届いた QR1 は、アカウントへの登録とペアリングが済んでいます。登録し直さず、12桁の管理者暗証番号をご自身の番号に変えるだけです。工場出荷のまま届いた場合（プラン B）は、KEYVOX Basic で QR1 をアカウント（組織）に登録し、管理者暗証番号を設定します。

アプリ設定　QR1 LE

目安時間
約10分

用意するもの
- スマートフォン

始める前に
- KEYVOX Basic にログインできること（KEYVOX サービスを申し込んだアカウント）
- QR1 の取り付けと電源が済んでいること
- 初期の管理者暗証番号（納品時のご案内に記載）と、新しく設定する12桁の番号

STEP 01

1 管理者暗証番号について

1.1 管理者暗証番号の役割

1. QR1 の再ペアリングや設定の変更をするときに入れる、12桁の番号です。
2. 番号は QR1 本体にも保存されます。
3. キーパッドでこの番号を押して、ロックを解錠することもできます。

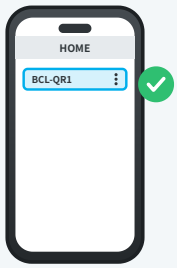
> ⚠ **注意** 忘れてしまうと、お客様側では再ペアリングができなくなります。マスターキーと同じように、大切に保管してください。

STEP 02

2 届いた状態を確かめる

2.1 QR1 がすでに表示されているか見る

1. KEYVOX Basic（または WEB 管理画面 BACS）にログインし、組織を選びます。
2. デバイスの一覧に QR1 が表示されていれば、KEYVOX で設定済みで届いています。下の「KEYVOX で設定済みで届いた」のタブに進みます。
3. 表示されていなければ、「工場出荷のまま届いた（プラン B）」のタブに進みます。



表示あり＝登録済み



追加しない

> ⚠ **注意** 表示されているのに「新しいロックを追加」から登録し直さないでください。二重登録になり、設定に失敗して使えなくなります。

STEP 03

3 QR1 を登録する

届いた状態に合わせてタブを選びます。

設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN **KEYVOX で設定済みで届いた**

3.A1 登録とペアリングはし直さない

KEYVOX が出荷前に、QR1 の登録、管理者暗証番号の設定、ロック（PiACK II・BR1・WD1）とのペアリング、部屋への割り当てを済ませています。「新しいロックを追加」は行いません。お客様の作業は、管理者暗証番号をご自身の番号に変えることだけです。

> ⚠ **注意** 表示されているのに登録やペアリングをし直すと、設定に失敗して使えなくなります。わからない場合は KEYVOX サポートにお問い合わせください。

3.A2 管理者暗証番号を変える

使い始める前に、下の「管理者暗証番号を変える」の手順で、出荷時の番号からご自身の12桁の番号に変えます。「現在の管理者暗証番号」には、納品時のご案内に記載の番号を入れます。

3.A3 続きの作業

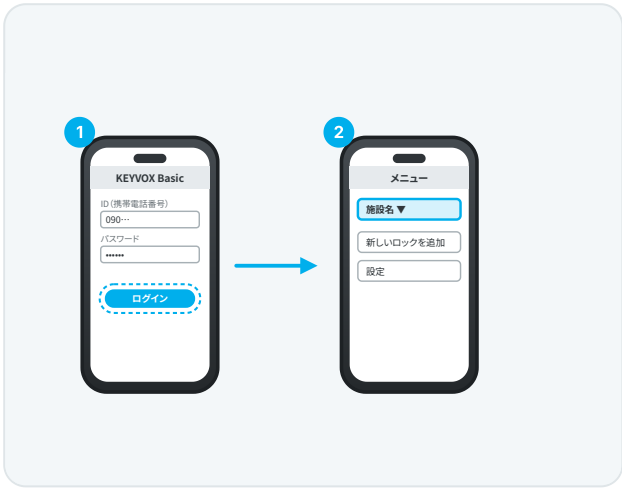
管理者暗証番号を変えたら、**インターネットにつなぐ（Wi-Fi・同期の設定）**に進みます。セサミのように現地でロック側の設定が必要な場合は、**QR1 LE とセサミをつなぐ**に進みます。

B PATTERN 工場出荷のまま届いた（プラン B）

3.B1 組織を選ぶ

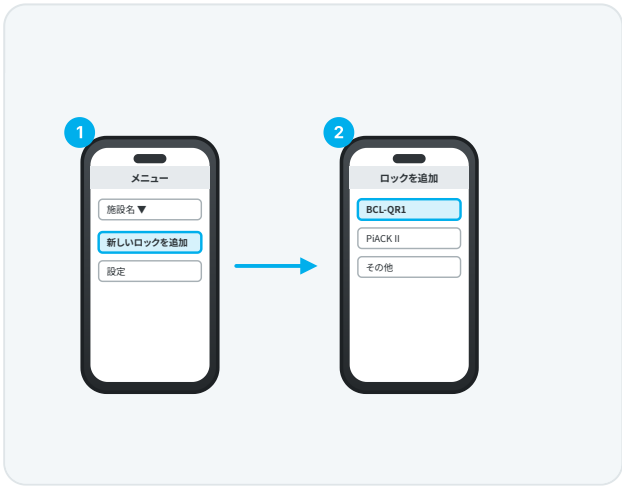
1. KEYVOX サービスを申し込んだアカウントでログインします。
2. 左上のメニューから、利用する組織（施設名・企業名）を選びます。

> ⚠ **注意** 組織を選び間違えると、別の組織に QR1 が登録されます。必ず先に確かめてください。



3.B2 「BCL-QR1」を選ぶ

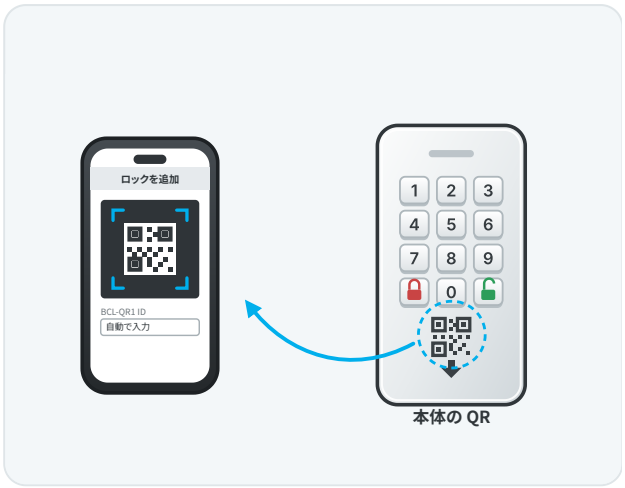
1. メニューの「新しいロックを追加」を押します。
2. 機種の一覧から「BCL-QR1」を押します。



3.B3 本体の QR コードを読み取る

1. QR1 の電源が入っていることを確かめます。
2. 「カメラを起動する」を押し、QR1 本体の正面にプリントされた QR コードを読み取ります。
3. 「BCL-QR1 ID」に値が自動で入ります。編集しないでください。

> **補足** 読み取れないときは「近くのBCL-QR1を検索する」で、まだ登録されていない QR1 を探せます。ただし複数台あると見分けにくいので、QR コードの読み取りをおすすめします。



3.B4 12桁の管理者暗証番号を設定する

1. 「現在の管理者暗証番号」に初期の管理者暗証番号（納品時のご案内に記載）を入れます。
2. 「新しい管理者暗証番号」に、決めておいた12桁の番号を入れます。
3. 再入力の欄にも同じ番号を入れ、「次へ」を押します。

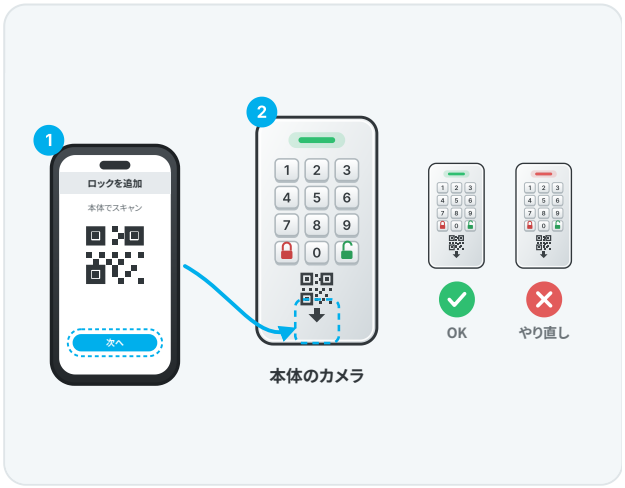
> **補足** 以前ペアリングして初期化していない QR1 では、「現在の管理者暗証番号」は前に設定した番号です。



3.B5 設定用の QR コードを本体で読み取る

1. アプリに出た「管理者暗証番号設定QR」を、QR1 本体のカメラにかざします。
2. QR1 の LED が緑に点いたら「次へ」を押します。

> **注意** LED が赤に点いた場合は設定できていません。前の画面に戻り、管理者暗証番号を入れ直してください。



3.B6 途中でやめて最初からやり直すとき

この時点では登録はまだ終わっていませんが、QR コードを読み取った時点で管理者暗証番号は新しい番号に変わっています。最初からやり直すときは、「現在の管理者暗証番号」に新しく設定した番号を入れます。

3.B7 つなぐロックの種類を選ぶ

管理者暗証番号を設定すると、ロックの種類を選ぶ画面に進みます。扉に付けた機器を選び、続きは**QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐ**（セサミは**QR1 LE とセサミをつなぐ**）で進めます。



STEP 04

4 管理者暗証番号を変える

KEYVOX で設定済みで届いたときのほか、番号を変えたいときはいつでもこの手順で変えられます。

4.1 「管理者暗証番号管理」を開く

1. QR1 の「⋮」を押します。
2. 「設定」を押します。
3. 「管理者暗証番号管理」を押します。



4.2 いまの番号と新しい番号を入れる

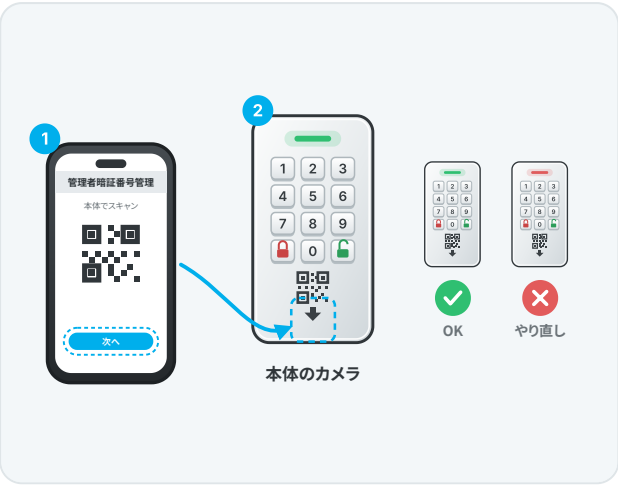
1. 「現在の管理者暗証番号」に、いま設定されている番号を入れます。
2. 「新しい管理者暗証番号」と再入力の欄に、新しい12桁の番号を入れます。
3. 「次へ」を押します。



4.3 変更用の QR コードを本体で読み取る

1. アプリに出た変更用の QR コードを、QR1 本体のカメラにかざします。
2. QR1 の LED が緑に点いたら、「次へ」を押して変更を終えます。

> ⚠ **注意** QR コードを読み取ったあと、必ず「次へ」を押してください。押さずに閉じると変更が終わりません。



STEP 05

5 管理者暗証番号を忘れたとき

5.1 サポートに問い合わせる

管理者暗証番号がわからなくなった場合は、ご自身で操作を進めず、KEYVOX サポート（support.keyvox.co）にお問い合わせください。

CHAPTER 03

03 QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐ

KEYVOX で設定済みで届いた機器は、QR1 と扉側の機器（PiACK II・BR1・WD1）のペアリングが済んでいます。このガイドの操作はいらず、表示を確かめて管理者暗証番号を変えるだけです。工場出荷のまま届いた場合（プラン B）は、KEYVOX Basic で QR1 と扉側の機器をペアリングします。

アプリ設定 | QR1 LE | PiACK II Smart | BR1 電気錠モジュール | BX1 キーボックス | WD1 有線LANモジュール

目安時間

約15分

用意するもの

- スマートフォン（KEYVOX Basic）

始める前に

- QR1 と接続機器の取り付け・給電が終わっていること（BR1・WD1 は電源に差し込み、BX1 は電池を入れた状態）
- 工場出荷のまま届いた場合（プラン B）：QR1 をアカウントに登録し、管理者暗証番号を設定してあること（**QR1 をアカウントに登録する（管理者暗証番号の設定）**）
- BX1・WD1 は QR1 LE とだけつなげます

STEP 01

1 届いた状態を確かめる

KEYVOX で設定済みで届いた場合、このガイドで行うのは表示の確認だけです。管理者暗証番号の変更は**QR1 をアカウントに登録する（管理者暗証番号の設定）**の「KEYVOX で設定済みで届いた」で行います。

1.1 アプリに QR1 が表示されるか確かめる

1. KEYVOX Basic（または管理画面 BACS）にログインし、利用する組織を選びます。
2. 一覧に該当の QR1 が表示されていれば、KEYVOX で設定済みで届いています。ペアリングの操作はしません。
3. 表示されていなければ、工場出荷のまま届いています（プラン B）。先に**QR1 をアカウントに登録する（管理者暗証番号の設定）**を済ませます。

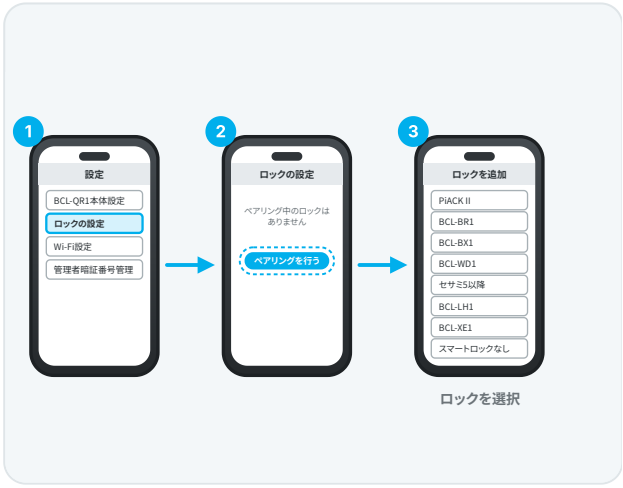


> ⚠ **注意** 表示されているのに、もう一度ペアリングの設定をしないでください。設定に失敗して使えなくなります。分からないときは KEYVOX サポート（support.keyvox.co）にお問い合わせください。

1.2 ロックがつながっているか確かめる

「ロックの設定」の表示で、ロックとのペアリングが済んでいるかが分かります。

1. QR1 の「：」から「設定」→「ロックの設定」を開きます。
2. つながっているロックの種類（PiACK II・BCL-BR1 など）が表示されていれば、ペアリング済みです。何もしません。
3. まだペアリングしていなければ、「ロックを選択」の画面が表示されます（セサミも同じです）。



> ℹ **補足** 「ロックを選択」の画面が出たら、下の機器ごとのタブの「工場出荷のまま（プラン B）」の手順で進めます。セサミは**QR1 LE とセサミをつなぐ**で進めます。

STEP 02

2 ロックを選択する

工場出荷のまま届いた場合（プラン B）は、QR1 の管理者暗証番号の QR を本体で読み取ったあと、続けてこの画面になります。

2.1 つなぐ機器を選ぶ

1. 本締錠の扉は「PiACK II」を押します。
2. 電気錠・自動ドアの扉は「BCL-BR1」、有線 LAN でつなぐ場合は「BCL-WD1」を押します。
3. ロックボックスは「BCL-BX1」を押します。

> ⚠ **注意** BCL-BX1・BCL-WD1 は QR1 LE とだけつなげます。



STEP 03

3 機器ごとにつなぐ

つなぐ機器のタブを選び、届いた状態（「KEYVOX で設定済みで届いた」／「工場出荷のまま届いた（プラン B）」）の手順だけを進めます。

設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN **PiACK II**

3.A1 KEYVOX で設定済み：設置して確かめる

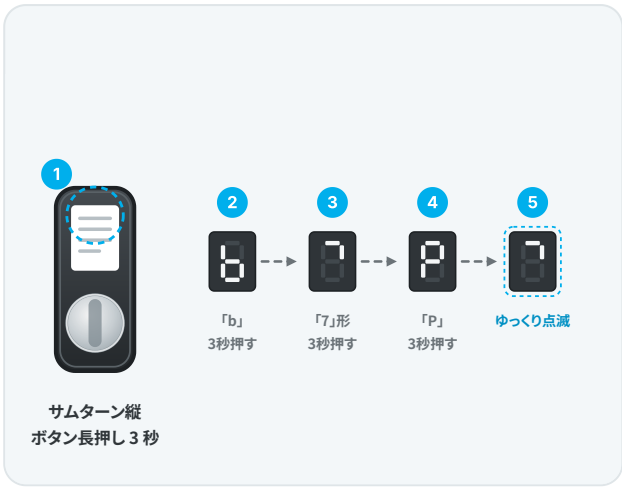
1. PiACK II を取り付け、電池を入れます（MIWA の取扱説明書のとおり）。
2. アプリに QR1 が表示されていることを確かめます。ペアリングの操作はしません。
3. QR1 をインターネットにつなぎ（**インターネットにつなぐ（Wi-Fi・同期の設定）**）、管理者暗証番号を自分の番号に変えます。

> ⚠ **注意** 管理者暗証番号は出荷前の番号のまま使わないでください。変え方は**QR1 をアカウントに登録する（管理者暗証番号の設定）**の「KEYVOX で設定済みで届いた」を見てください。

3.A2 工場出荷のまま（プラン B）：PiACK II をペアリングモードにする

1. サムターンを縦（解錠状態）にし、ボタンを 3 秒長押しして、表示が点滅したら離します。
2. 表示を「b」→「7」の形→「P」と切り替え、そのたびに 3 秒長押しで決めます。
3. 「7」の形がゆっくり点滅すれば、ペアリングの待機中です。アプリで「次へ」を押します。

> ⚠ **注意** PiACK II の扉勝手は出荷時に決まっています。勝手が違う場合はお客様だけでは変えられません。KEYVOX サポートにご連絡ください。



3.A3 工場出荷のまま（プラン B）：アプリの QR を QR1 で読み取る

1. アプリに出た QR コードを、QR1 本体のカメラで読み取ります。
2. QR1 の LED が緑に点き、しばらく点滅します。
3. もう一度緑に点いて完了音が鳴れば成功です。「次へ」を押します。

> ℹ **補足** このあと「ペアリングが完了しました」の画面になります（下の「インターネットの設定に進む」）。



B PATTERN BR1

3.B1 KEYVOX で設定済み：設置して確かめる

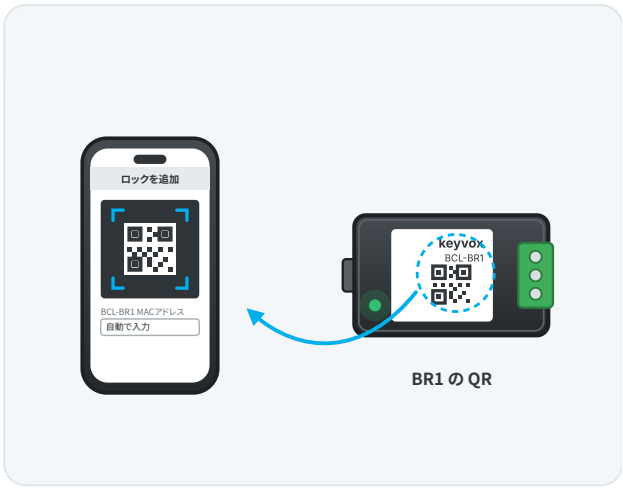
1. BR1 を電源に差し込みます。
2. アプリに QR1 が表示されていることを確かめます。ペアリングの操作はしません。
3. QR1 をインターネットにつなぎ、QR1 の管理者暗証番号を自分の番号に変えます。

> ⚠ **注意** 管理者暗証番号は出荷前の番号のまま使わないでください。変え方は**QR1 をアカウントに登録する（管理者暗証番号の設定）**の「KEYVOX で設定済みで届いた」を見てください。

3.B2 工場出荷のまま（プラン B）：BR1 の QR コードを読み取る

1. BR1 が電源に差し込まれていることを確かめます。
2. アプリのスキャンのアイコンを押し、BR1 に貼られた QR コードを読み取ります。
3. MAC アドレスが自動で入ったことを確かめます。

> **補足** 読み取れないときは「近くのBCL-BR1を検索する」でも探せます。複数台あると見分けにくいので、QR の読み取りをおすすめします。



3.B3 工場出荷のまま（プラン B）：BR1 の管理者暗証番号を設定する

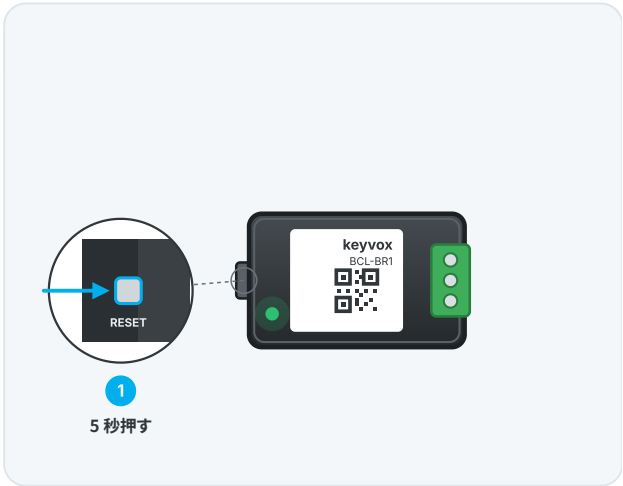
1. 「現在のBCL-BR1管理者暗証番号」に、初期の管理者暗証番号（納品時のご案内に記載）を入れます。
2. 新しい BR1 管理者暗証番号を、画面の指示に従った桁数で 2 回入れます。
3. 「次へ」を押します。

> **補足** 以前にペアリングして初期化していない BR1 は、「現在の」欄に前に設定した番号を入れます。



3.B4 BR1 の番号が分からないとき

BR1 側面の RESET スイッチを 5 秒押すと、BR1 の管理者暗証番号が初期に戻ります。そのあと、初期の番号を入れて進めます。



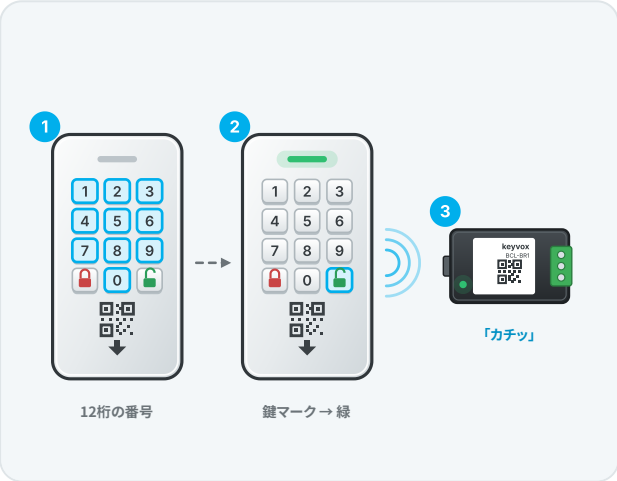
3.B5 工場出荷のまま（プラン B）：アプリの QR を QR1 で読み取る

1. アプリに出た QR コードを、QR1 本体のカメラで読み取ります。
2. QR1 の LED が緑に点き、しばらく点滅したあと、もう一度緑に点いて完了音が鳴れば成功です。
3. BR1 の LED が点滅から点灯に変わったことを確かめ、「次へ」を押します。



3.B6 QR1 と BR1 の通信を確かめる

1. QR1 で 12 桁の管理者暗証番号を押し、右下の鍵マークを押します。
2. 緑の LED が点くことを確かめます。
3. 解錠できると BR1 が「カチッ」と鳴ります。



3.B7 BR1 の管理者暗証番号を変える

BR1 は初期の管理者暗証番号のままでは使えません。QR1 の「設定」→「ロックの設定」で変えます。

1. 「新しいBCL-BR1管理者暗証番号」に新しい番号を入れます。
2. 「変更」を押します。

> ⚠ **注意** 赤い「ロックを削除する」は押さないでください。QR1 と BR1 のペアリングが外れます。



C PATTERN **BX1**

3.C1 KEYVOX で設定済み：設置して確かめる

1. BX1 に電池を入れます。
2. アプリに QR1 と BX1 が表示されていることを確かめます。ペアリングの操作はしません。
3. QR1 をインターネットにつなぎ、QR1 の管理者暗証番号を自分の番号に変えます。

> ⚠ **注意** 管理者暗証番号は出荷前の番号のまま使わないでください。変え方はQR1 をアカウントに登録する（管理者暗証番号の設定）の「KEYVOX で設定済みで届いた」を見てください。

3.C2 工場出荷のまま（プラン B）：BX1 を追加する

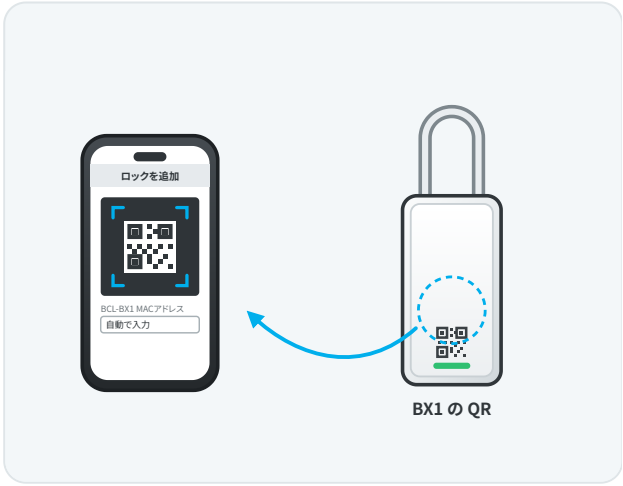
1. 新品の BX1 は「新しくBCL-BX1を追加」を押します。
2. アプリにすでにある BX1 をこの QR1 につなぐときは「登録済みBCL-BX1を選択」を押します。

> ⓘ **補足** QR1 LE 1 台に、BX1 を 12 台までつなげます。管理画面（BACS）では BX1 ごとに表示されるので、BX1 をドアに紐づけて使います。



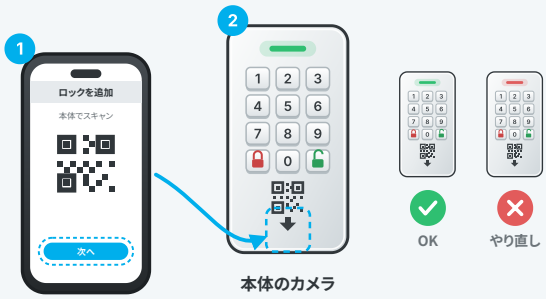
3.C3 工場出荷のまま（プラン B）：BX1 の QR コードを読み取る

1. BX1 に電池を入れます。
2. アプリのスキャンのアイコンを押し、BX1 に印刷された QR コードを読み取ります。
3. MAC アドレスが自動で入ったら「次へ」を押します。



3.C4 工場出荷のまま（プラン B）：アプリの QR を QR1 で読み取る

1. アプリに出た QR コードを、QR1 本体のカメラで読み取ります。
2. QR1 の LED が緑に点き、しばらく点滅したあと、もう一度緑に点いて完了音が鳴れば成功です。
3. BX1 が複数台あるときは、1 台ずつ追加と読み取りを繰り返し、最後に「完了する」を押します。

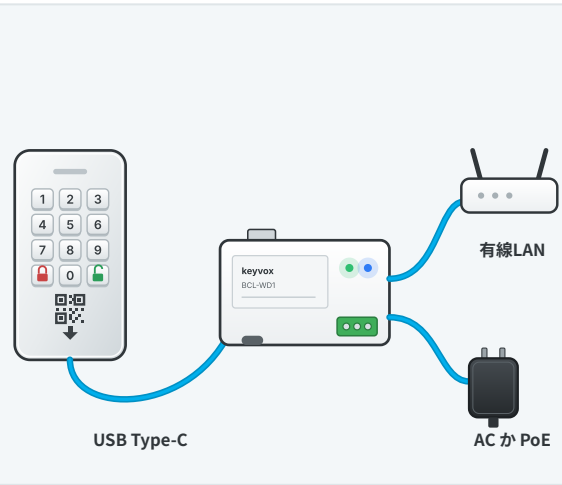


> **補足** BX1 はあとから追加・変更もできます。外すときは BX1 の「設定」から「ロックを削除する」を行います（交換・削除・初期化）。

D PATTERN WD1

3.D1 KEYVOX で設定済み：つなぐだけ

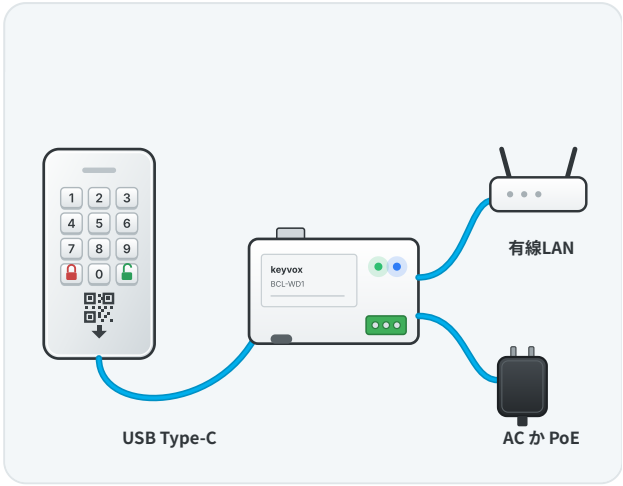
1. QR1 LE と WD1 を専用の USB Type-C ケーブルでつなぎます（給電と通信）。
2. WD1 を AC 電源、または PoE ケーブルにつなぎます。
3. WD1 に有線 LAN のケーブルをつなぎます。インターネットの設定操作はいりません。
4. アプリに QR1 が表示されていることを確かめ、QR1 の管理者暗証番号を自分の番号に変えます。



> **注意** ペアリングの操作はしないでください。管理者暗証番号の変え方は「QR1 をアカウントに登録する（管理者暗証番号の設定）」の「KEYVOX で設定済みで届いた」を見てください。

3.D2 工場出荷のまま（プラン B）：QR1 LE と WD1 をつなぐ

1. QR1 LE と WD1 を専用の USB Type-C ケーブルでつなぎます（給電と通信）。
2. WD1 を AC 電源、または PoE ケーブルにつなぎます。
3. インターネットを有線 LAN でつなぐ場合は、WD1 に LAN ケーブルもつなぎます。
4. アプリの WD1 の画面は入力がありません。「次へ」を押します。



3.D3 工場出荷のまま（プラン B）：アプリの QR を QR1 で読み取る

1. アプリに出た QR コードを、QR1 本体のカメラで読み取ります。
2. QR1 の LED が緑に点いてしばらく点滅し、もう一度緑に点いて完了音が鳴れば成功です。
3. ロックが開錠・施錠することを確かめ、「次へ」を押します。

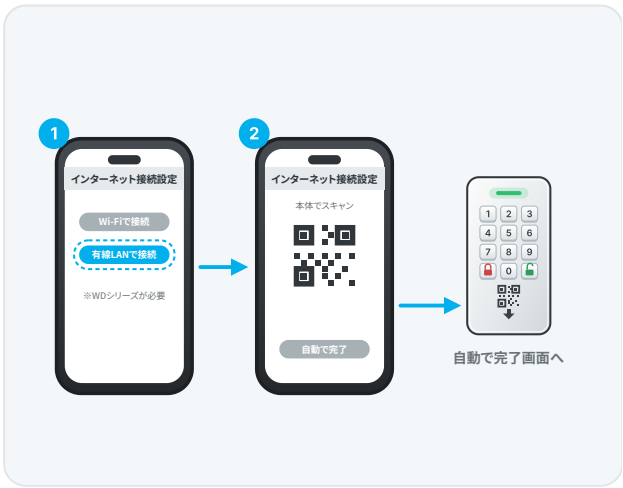
> ⚠ **注意** ロックが動かず、LED が赤に点いた場合は設定できていません。設定をやり直してください。



3.D4 工場出荷のまま（プラン B）：有線 LAN でインターネットにつなぐ

1. 完了の画面で「Wi-Fi設定に進む」を押します。
2. 「インターネット接続設定」で「有線LANでインターネットに接続する」を押します。
3. 表示された QR コードを QR1 本体のカメラで読み取ります。
4. 接続を確かめると、画面が自動で完了に変わります。これでペアリングは完了です。

> ℹ **補足** 特別な事情がない限り、インターネットは有線 LAN でつなぐことを強くおすすめします。



3.D5 QR の画面がすぐ次へ進んでしまうとき

先に Wi-Fi を設定していると、有線 LAN の QR の画面が自動で次の画面に進んでしまいます。Wi-Fi の設定を消してからやり直します。

1. 前の画面で「Wi-Fiでインターネットに接続する」を押します。
2. 「Wi-Fi設定を削除する」を押し、表示された QR コードを QR1 本体で読み取ります。
3. もう一度「インターネット接続設定」→「有線LANでインターネットに接続する」を選びます。



STEP 04

4 インターネットの設定に進む

工場出荷のまま届いた場合（プラン B）に、PiACK II・BR1・BX1 をつないだときです（WD1 は上のタブで完了しています）。

4.1 「Wi-Fi設定に進む」を押す

「BCL-QR1とロックのペアリングが完了しました。」と出たら、この時点でアカウントへの登録は済んでいます。続けて「Wi-Fi設定に進む」を押し、**インターネットにつなぐ（Wi-Fi・同期の設定）**の手順で設定します。

> **補足** インターネットの設定は後からでもできます。ただし設定しないと一部の機能が使えません。



STEP 05

5 施工業者が取り付けた場合

5.1 ペアリングのやり直しは要りません

施工業者は施工店アプリで機器を部屋に紐付け、取り付けの完了を報告します。そのあとの引き継ぎの方法は KEYVOX からご案内します。オーナーの方は、ペアリングをやり直さずに、管理者暗証番号だけを**QR1 をアカウントに登録する（管理者暗証番号の設定）**で自分の番号に変えます。

> **補足** 引き継ぎで分からないことは、KEYVOX サポート（support.keyvox.co）にお問い合わせください。

CHAPTER 04

04 QR1 LE とセサミをつなぐ

セサミアプリでセサミを設定してオーナー鍵の QR コードを発行し、KEYVOX Basic で QR1 LE とペアリングします。セサミ 5・5 Pro・6 Pro・6 Pro mini・6 Pro 引き戸に対応します。

アプリ設定　QR1 LE

目安時間

約30分

用意するもの

- スマートフォン（KEYVOX Basic・セサミ、ひらけゴマ!）

始める前に

- QR1 LE とセサミの取り付けが終わっていること
- KEYVOX Basic と「セサミ、ひらけゴマ!」を最新版にしてあること
- スマートフォンの Bluetooth がオンになっていること
- セサミアプリのアカウント用のメールアドレス（ログイン時に認証コードが届きます）
- 施設の 2.4GHz の Wi-Fi の SSID とパスワード（2.4GHz と 5GHz が同じ SSID の機器には対応していません）

STEP 01

1 始める前に

1.1 使える機器を確かめる

1. セサミとつなげる QR1 は「BCL-QR1 LE」だけです。
2. セサミ 5・5 Pro・6 Pro・6 Pro mini・6 Pro 引き戸に対応します。
3. セサミ 6 シリーズは、QR1 LE のファームウェアを最新に更新してからペアリングします。

> **補足** 以前の WebAPI 方式でのセサミ連携は、新しく始めることはできません。この手順（Bluetooth でつなぐ方式）で設定します。

STEP 02

2 セサミを設定する

セサミアプリで行います。KEYVOX で設定済みで届いた場合も、セサミ側の設定は現地で必要です（施錠・解錠の位置は取り付けてからでないと決められないため）。

2.1 セサミアプリにログインする

1. セサミアプリを開き、右下の「自分」を押します。
2. 登録の欄を押し、メールアドレスを入れます。
3. メールで届いた認証コードを入れます。

2.2 必要ならセサミをリセットする

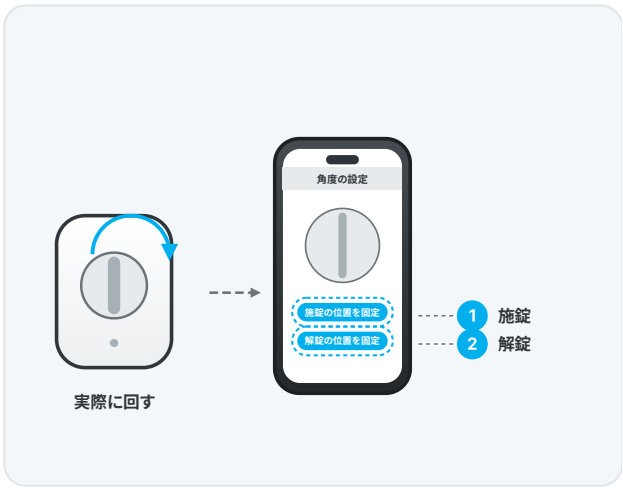
新品は不要です。本体のリセット穴をクリップなど先の細いもので長押しし、青いランプが点いて消えるまで押し続けます。

2.3 セサミを登録する

1. スマートフォンの Bluetooth がオンか確かめます（機種によっては位置情報の許可も必要です）。
2. 右上の「＋」→「新規デバイス」から、セサミを登録します。

2.4 施錠・解錠の位置を決める

1. サムターンを施錠の位置まで動かし、「施錠の位置を固定する」を押します。
2. サムターンを解錠の位置まで動かし、「解錠の位置を固定する」を押します。
3. 画面の真ん中を押し、実際に開け閉めできるか確かめます。



補足 セサミが複数あるときは、ここで「お名前」から分かりやすい名前にしておくと、取り違えを防げます。

2.5 BLE 送信出力を「最大」にする

1. 対象のセサミを開き、「SesameOS 更新と再起動」を押します。
2. 画面下の「BLE 送信出力」を「最大（右）」にします。

> ⚠ **注意** 最大になっていないと、設置の状況によっては QR1 からセサミへの解錠の指示が届かないことがあります。



STEP 03

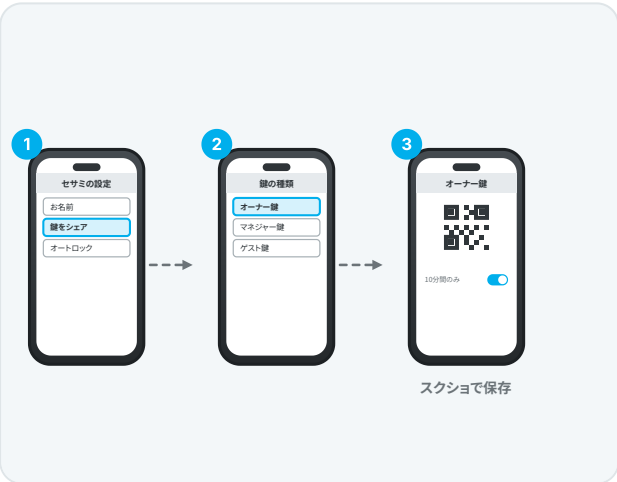
3 セサミのオーナー鍵の QR コードを発行する

この QR コードは、あとで QR1 とペアリングするときに読み込みます。

3.1 オーナー鍵の QR を保存する

1. セサミを選び、右上の「・・・」を押します。
2. 「このセサミの鍵をシェア」を押し、「オーナー鍵」を選びます。
3. 表示された QR コードをスクリーンショットで保存します。

> ⚠ **注意** 「オーナー鍵」以外ではペアリングできません。また「QRコードを暗号化、10分間のみスキャン可能」は初期でオンです。オンのままだと、10 分を過ぎたスクリーンショットは読み込めません。過ぎたら QR を発行し直してください。



STEP 04

4 QR1 の準備をする

届いた状態に合わせてタブを選びます。

設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN KEYVOX で設定済みで届いた

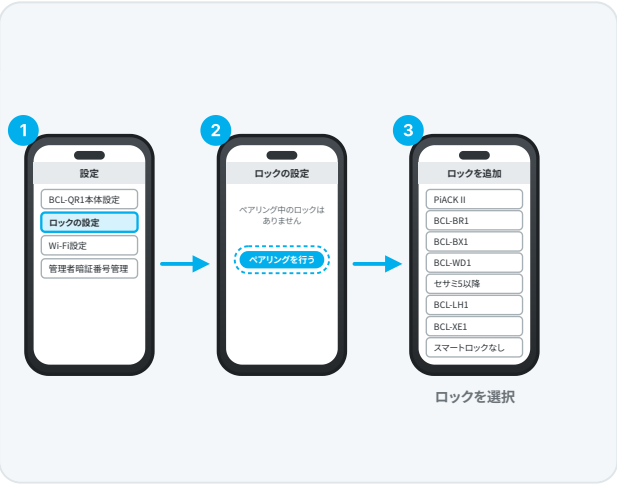
4.A1 管理者暗証番号を自分の番号に変える

QR1 の登録・管理者暗証番号の設定・ファームウェアの更新は出荷前に済んでいます。使い始める前に、管理者暗証番号を自分の番号に変えます（**QR1 をアカウントに登録する（管理者暗証番号の設定）**の「KEYVOX で設定済みで届いた」）。

> ⚠ **注意** 「新しいロックを追加」は行わないでください。二重に登録されます。

4.A2 ロックを選択する画面を開く

1. QR1 の「⋮」から「設定」→「ロックの設定」を開きます。
2. 「ロックとのペアリングを行う」を押します。
3. 「ロックを選択」の画面が開いたら、次の「QR1 とセサミをペアリングする」に進みます。



B PATTERN 工場出荷のまま届いた（プラン B）

4.B1 QR1 をアカウントに登録する

QR1 をアカウントに登録する（管理者暗証番号の設定）の手順で、QR1 LE を登録して管理者暗証番号を設定します。管理者暗証番号の QR を本体で読み取ると、続けて「ロックを選択」の画面になります。そのまま次の「QR1 とセサミをペアリングする」に進みます。

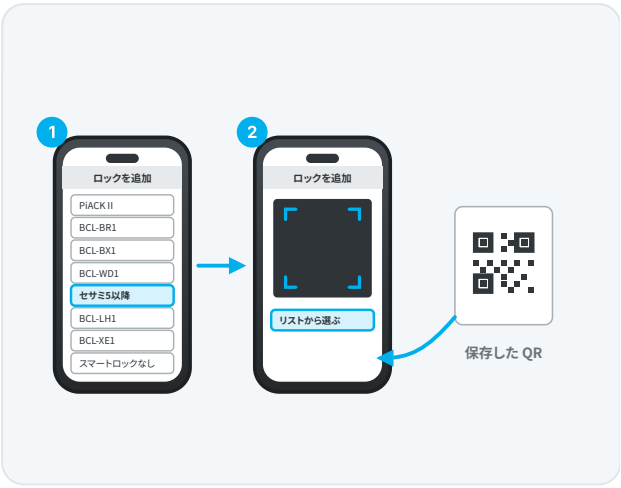
STEP 05

5 QR1 とセサミをペアリングする

5.1 「セサミ5以降」を選び、セサミの QR を読み込む

1. ロックの種類で「セサミ5以降」を押します（セサミ 6 シリーズもここから選びます）。
2. スキャンのアイコンを押し、「リストから選ぶ」で保存したオーナー鍵の QR コードを選びます。
3. セサミのロック情報が入ったら「次へ」を押します。

> ⚠ **注意** 10 分を過ぎた QR は読み込めないことがあります。そのときはセサミアプリで QR を発行し直してください。



5.2 ペアリング用の QR を QR1 で読み取る

1. アプリに出た QR コードを、QR1 本体のカメラで読み取ります。
2. QR1 の LED が緑に点いたら「次へ」を押し、「完了する」を押します。

> ⚠ **注意** LED が赤に点いた場合は設定できていません。設定をやり直してください。



5.3 インターネットにつなぐ

ペアリングが終わると、インターネットの設定の画面に進みます。**インターネットにつなぐ（Wi-Fi・同期の設定）**の手順で Wi-Fi を設定します。設定しないと一部の機能が使えません。

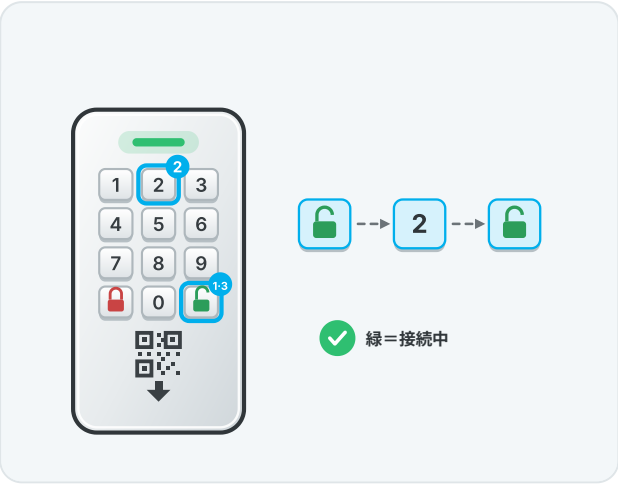
STEP 06

6 動作を確かめる

6.1 本体の操作で状態を確かめる

QR1 のキーで、解錠ボタン（緑の鍵マーク）→ 数字 → 解錠ボタンの順に押します。うまくいかないときは 2〜3 回試します。

1. 「1」：強制同期。緑の LED が点滅し、数分後に消えれば成功です。「ブー」と鳴って赤に点けば失敗です。
2. 「2」：ルーターにつながっているかの確認。点滅のあと「ピロリン」なら接続、「ブー」と赤なら切断です。



6.2 アプリのカギで解錠する

KEYVOX Basic に出る QR コードを QR1 にかざし、セサミが解錠することを確かめます。

6.3 ファームウェアを最新にする

使い始める前に、QR1 LE のファームウェアを最新に更新します（**日常の保守（ファームウェア・電池・本体コマンド）**）。

STEP 07

7 オートロックを設定する（任意）

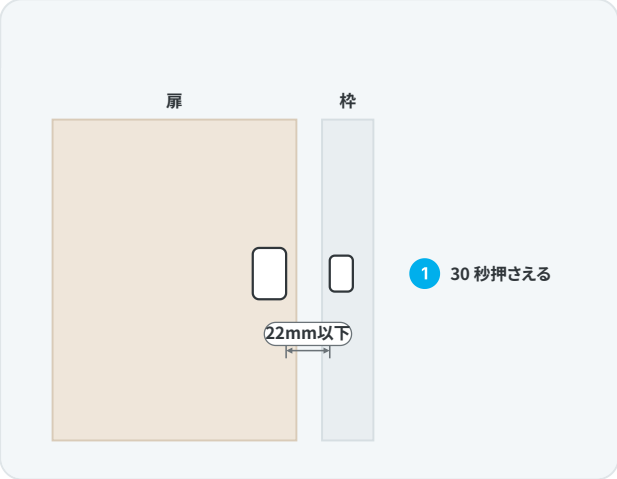
扉を自動で施錠したい場合に設定します。オープンセンサーの有無でタブを選びます。

設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN オープンセンサーあり

7.A1 オープンセンサーを貼る

1. 透明な保護フィルムを外し、電池を有効にします。
2. 貼る場所をきれいにします。
3. 扉を閉めたとき、2 つのパーツの間が 22mm 以下になる位置に貼り、30 秒間押さえます。



> ⚠ **注意** 3M のシールは一度はがすと粘着力が 70% 下がります。貼り直すときは新しいシールに替えてください。

7.A2 セサミアプリでセンサーを登録する

1. 右上の「＋」→「新規デバイス」を押し、オープンセンサーを押します。
2. 「セサミを追加」を押し、ペアリングしたセサミが表示されたら完了です。
3. 扉を閉めて施錠されるか確かめます。

> ℹ **補足** 施錠されないときは、セサミの「・・・」→「オープンセンサーで施錠」で、オンになっているか・2 つの機器が指定されているか・すぐに施錠されない時間（1 時間など）になっていないかを確かめます。

B PATTERN オープンセンサーなし

7.B1 タイマー式のオートロックにする

1. セサミを選び、右上の「・・・」を押します。
2. 「タイマー式のオートロック」を押し、時間を決めます。
3. 解錠してから、決めた時間のあとに自動で施錠されます。

STEP 08

8 SESAME Biz と連携する（任意）

必須ではありません。SESAME Biz の契約が必要です。

8.1 できること

1. 管理画面（BACS）や KEYVOX Basic から遠隔で解錠できます。
2. QR1 をインターネットにつながずに使う場合も、開け閉めの履歴を 20 分に一度取得できます。

8.2 API キーを発行して BACS に登録する

1. SESAME Biz にメールアドレスでログインし、自動で作られる会社の名前を編集します。
2. 個人ページ左下の「開発者向け」を押し、API キーをコピーします。
3. BACS の「設定」→「デバイス」で、セサミとペアリングした QR1 の「詳細」を押します。
4. 「セサミ WebAPI の登録」に API キーを入れて「実行する」を押し、「保存」を押します。

> ⚠ **注意** API キーは他の人に見せないでください。

動画で見る

セサミとの連携方法（マニュアル動画） ..... youtu.be/1zqFSwYTz6w?feature=shared

セサミとの連携方法（KEYVOX 代表による解説） ..... youtu.be/_xeruDLpc1E

CHAPTER 05

05 BX1 をアプリで使う（KEYVOX Basic）

キーボックス BX1 をスマートフォンのアプリ「KEYVOX Basic」とペアリングし、カギのシェア・受け取り、オートロック時間、通信設定の最適化、ファームウェアの更新、登録の削除を行う手順です。開かないときの確認や、履歴・名前・電池残量の見方もまとめています。

アプリ設定　BX1 キーボックス

目安時間	用意するもの	始める前に
約10分	・スマートフォン（KEYVOX Basic をインストール）	・BX1 に単三アルカリ電池 2 本を入れてあること（BX1 キーボックスの設置の電池の手順）

STEP 01

1 アプリを準備する

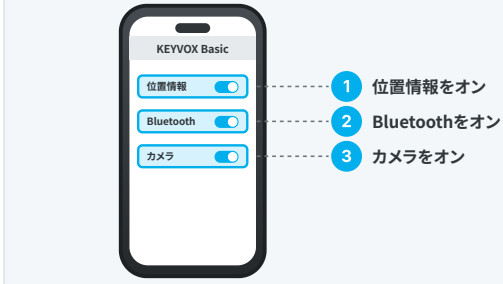
BX1 は暗証番号では開きません。アプリ「KEYVOX Basic」から Bluetooth で解錠します。

1.1 KEYVOX Basic をインストールする

App Store（iPhone）または Google Play（Android）で「KEYVOX Basic」を検索し、インストールします。

1.2 位置情報・Bluetooth・カメラを許可する

1. スマートフォンの設定で、KEYVOX Basic の「位置情報」をオン（許可）にします。
2. 「Bluetooth」をオン（許可）にします。
3. 「カメラ」をオン（許可）にします。



1.3 BCL ID でログインする

1. KEYVOX Basic を開き、BCL ID をお持ちの場合はログインします。
2. お持ちでない場合は「新規登録」から BCL ID を作ります。

> ⚠ **注意** 携帯電話番号で登録したアカウントと、Google・Apple のソーシャルログインで登録したアカウントは別のアカウントになり、あとからリンクできません。使うアカウントを決めてから登録してください。

STEP 02

2 BX1 とペアリングする

電池を入れた BX1 の近くで行います。

2.1 「新しいロックを追加」から BCL-BX1 を選ぶ

1. 左上の「≡」をタップします。
2. 「新しいロックを追加」をタップします。
3. 「BCL-BX1」を選びます。

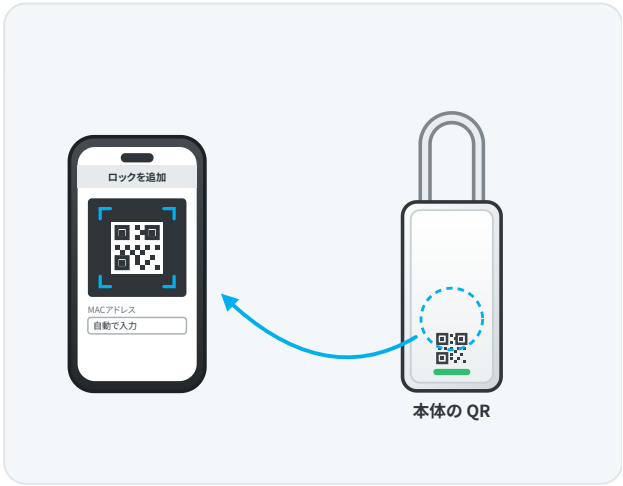
> ⚠ **注意** 1 台の BX1 とペアリングできるのは 1 アカウントだけです。ほかの人にも使ってもらうときは、ペアリングではなく「カギをシェアする」でカギを送ります。



2.2 本体の QR コードを読み取る

1. スキャンマークをタップしてカメラを起動します。
2. BX1 本体正面の QR コードを読み取ります。
3. MAC アドレスが自動で入力されたことを確かめ、「次へ」をタップします。
4. 完了の画面が出たら「完了する」をタップしてホームに戻ります。

> ℹ **補足** QR コードを読み取れない場合は「近くのBCL-BX1を検索する」でも見つけられます。ただし複数台あると見分けにくいので、QR コードを読み取る方法をおすすめします。



2.3 ファームウェアを最新にする

ペアリングが終わったら、使い始める前に必ずファームウェアを最新にします（「ファームウェアを更新する」の手順）。

STEP 03

3 BX1 のメニューを開く

以下の操作は、どれもこのメニューから始めます。

3.1 三点ボタンからメニューを開く

1. 左上の「≡」をタップします。
2. 操作したい BX1 の三点ボタンをタップします。
3. 「履歴」「カギの共有」「設定」から選びます。



STEP 04

4 カギをシェアする

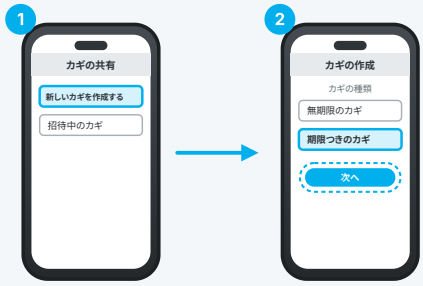
ゲストなどに 1 回だけ・決まった期間だけ使えるカギは「期限つきのカギ」、家族などにいつでも使えるカギは「無期限のカギ」で作ります。受け取る人も KEYVOX Basic のインストールが必要です。

設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN 期限つきのカギ

4.A1 「期限つきのカギ」を選ぶ

1. メニューの「カギの共有」をタップします。
2. 「新しいカギを作成する」をタップします。
3. 「期限つきのカギ」を選び、「次へ」をタップします。



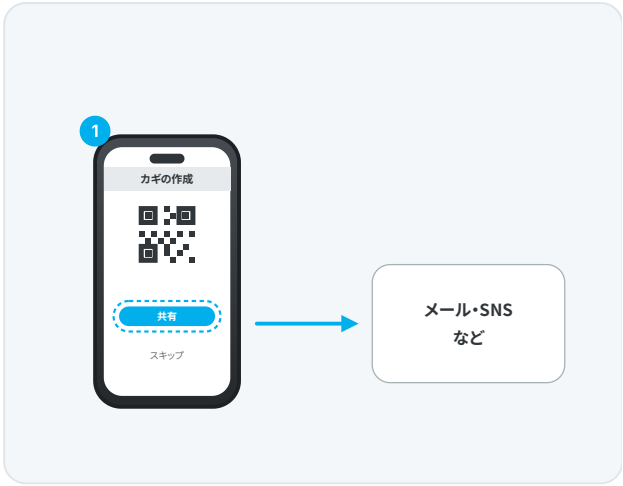
4.A2 名前と利用期限を決める

1. カギの名前を入れます。
2. 利用期限を「制限なし」「1回のみ」「日付を指定」「曜日と時刻を指定」から選びます。
3. 「日付を指定」「曜日と時刻を指定」の場合は、具体的な期限を設定します。
4. 必要ならメモに受け取る人の名前などを入れ、「作成して共有する」をタップします。



4.A3 カギを送る

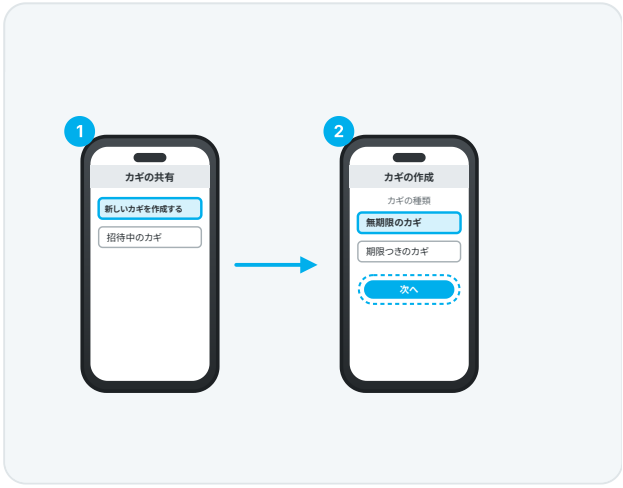
1. 共有ボタンをタップし、メールや SNS などでカギの QR コードを送ります。
2. 送り終えたとき、今は送らないときは「スキップ」をタップします。



B PATTERN 無期限のカギ

4.B1 「無期限のカギ」を選ぶ

1. メニューの「カギの共有」をタップします。
2. 「新しいカギを作成する」をタップします。
3. 「無期限のカギ」を選び、「次へ」をタップします。



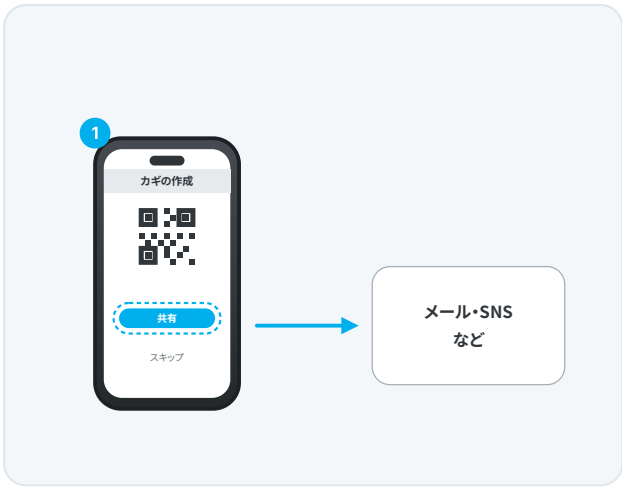
4.B2 名前を入れて作成する

1. カギの名前を入れます。
2. 必要ならメモに受け取る人の名前などを入れます。
3. 「作成して共有する」をタップします。



4.B3 カギを送る

1. 共有ボタンをタップし、メールや SNS などでカギの QR コードを送ります。
2. 送り終えたとき、今は送らないときは「スキップ」をタップします。



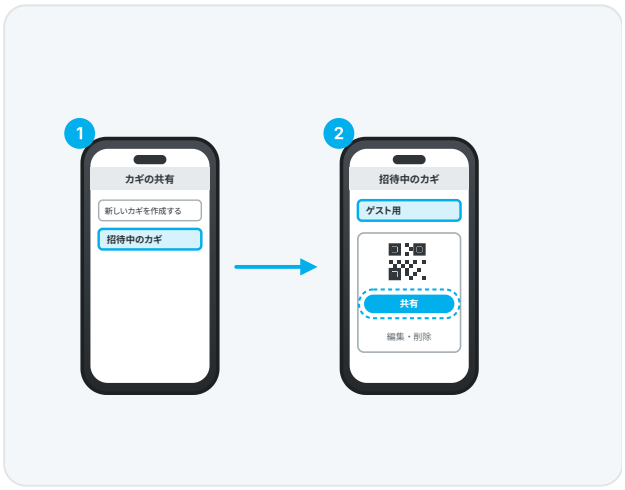
STEP 05

5 あとからカギを送る・編集する

5.1 「招待中のカギ」から送る

1. メニューの「カギの共有」で「招待中のカギ」をタップします（作ったけれど、まだ相手が受け取っていないカギが並びます）。
2. 送りたいカギを選びます。
3. 表示された画面の共有ボタンから送ります。

> **補足** 作ったカギの編集・削除も、同じ画面のボタンから行えます。



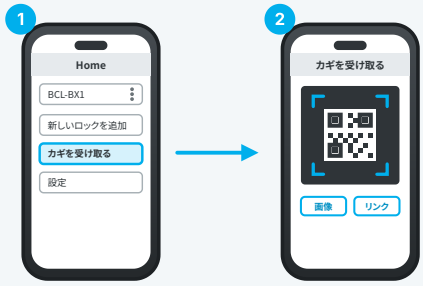
STEP 06

6 シェアされたカギを受け取る

カギの QR コードを画像で受け取ったら、いったんスマートフォンの写真（カメラロール）に保存しておきます。

6.1 「カギを受け取る」で QR コードを読み取る

1. KEYVOX Basic を開き、左上の「≡」をタップします。
2. 「カギを受け取る」をタップすると、カメラが起動します。
3. 届いた QR コードを読み取ります。写真に保存した QR コードは、画面下部の「画像」から選びます。
4. URL で届いた場合は「リンク」をタップし、URL を貼り付けます。
5. 始めの画面に戻り「カギを受信しました」と出たら完了です。



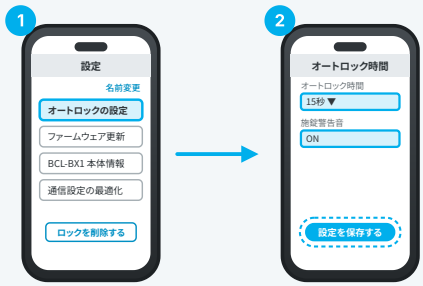
> **補足** カギは離れた場所でも受け取れますが、解錠は BX1 の近く（スマートフォンの Bluetooth が届く距離）でないとできません。URL でカギを発行するには、企業向けサービスのご契約が必要です。

STEP 07

7 オートロック時間を変える

7.1 オートロック時間と施錠警告音を設定する

1. メニューの「設定」で「オートロックの設定」をタップします。
2. オートロック時間を「しない」か、3 秒〜1 分から選びます。
3. 解錠してから施錠するまで警告音を鳴らすかどうか（施錠警告音の ON / OFF）を選びます。
4. 「設定を保存する」をタップし、画面下部に「設定成功」と出たら完了です。



> **補足** オートロックは、蓋が開いていても閉まっていても働きます。蓋を開けたまま施錠された場合でも、蓋は閉められます。

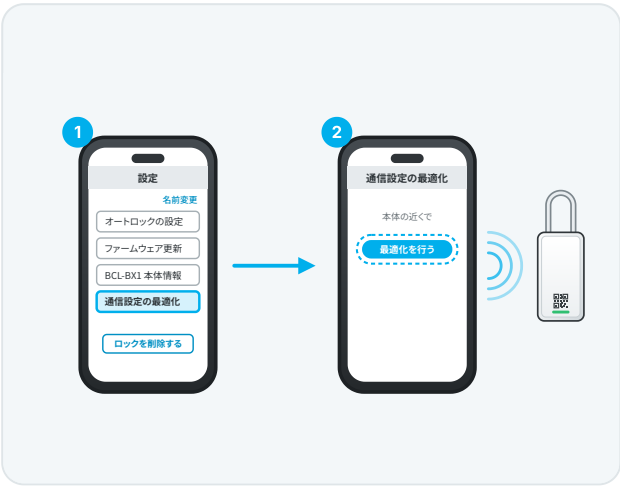
STEP 08

8 通信設定を最適化する（半年に一度）

BX1 を安定して使うため、半年に一度ほど「通信設定の最適化」をします。Bluetooth で行うので、必ず BX1 のすぐ近くで操作します。

8.1 「最適化を行う」をタップする

1. メニューの「設定」で「通信設定の最適化」をタップします。
2. BX1 のすぐ近くで「最適化を行う」をタップします。
3. 完了の画面が出たら「完了する」をタップします。



STEP 09

9 ファームウェアを更新する

不具合が起きているときも、最新のファームウェアに更新すると直ることがあります。最新（数字が最も大きいバージョン）でなければ更新します。

9.1 最新のバージョンを選んで更新する

1. BX1 の近くで、メニューの「設定」から「ファームウェア更新」をタップします。
2. 「ファームウェアのバージョンを選択」の下のボックスをタップし、最新のバージョンを選びます。
3. 「ファームウェアの更新」をタップします。
4. 「バージョンアップ中…」が消え、画面下部に「Firmware バージョンアップに成功しました。」と出たら完了です。



> ⚠ **注意** 更新中はアプリの画面を閉じないでください。閉じると更新に失敗します。

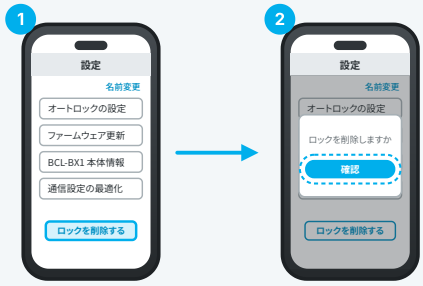
STEP 10

10 アカウントから BX1 を削除する

譲渡・故障などで BX1 を手放すときに行います。削除したあとも、もう一度ペアリングできます。

10.1 「ロックを削除する」で削除する

1. メニューの「設定」で「ロックを削除する」をタップします。
2. 本当に削除してよければ「確認」をタップします。
3. 処理中の画面のあと、完了の画面が出たら「完了する」をタップします。



10.2 Bluetooth でつながらない場合（強制削除）

1. BX1 と通信できなくても「ロックを削除する」は実行できます（確認画面に「強制的に削除」と出ることがあります）。
2. このときはサーバー上の登録だけが消え、シェアしたカギもその時点で使えなくなります。
3. BX1 本体に残った元のオーナー情報は、次にペアリングするとき、Bluetooth で通信できる状態で自動的に消えます。

> **補足** 故障して再利用しない BX1 は、強制削除してかまいません。

STEP 11

11 困ったとき・よくある質問

11.1 BX1 が開かない

1. KEYVOX Basic を最新版に更新します（App Store・Google Play で確認）。
2. BX1 のファームウェアを最新にします。
3. スマートフォンの Bluetooth がオンか確かめ、障害物をはさまず BX1 のすぐ近くで操作します。
4. 新品のアルカリ乾電池が正しく入っているか確かめます。中で電池が外れている場合は、USB Type-C で給電して解錠します。
5. 同時に Bluetooth で操作できるのは 1 アカウントだけです。カギをシェアした人が操作していないか確かめ、その操作をやめてから解錠します。



> **補足** 以上を試しても開かない場合は、KEYVOX サポート（support.keyvox.co）にお問い合わせください。

11.2 いつ開けられたか知りたい

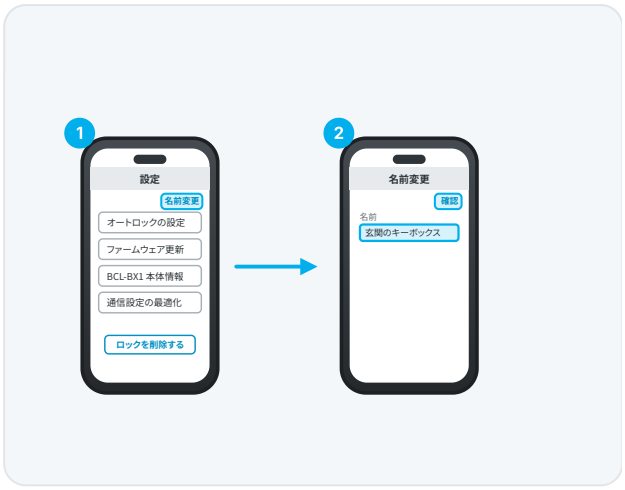
1. メニューの「履歴」をタップします。
2. 解錠の記録が時刻の順に並びます。



> **補足** 履歴は、BX1 の近くで Bluetooth でつながったときに最新の情報を取り込みます。

11.3 BX1 の名前を変えたい

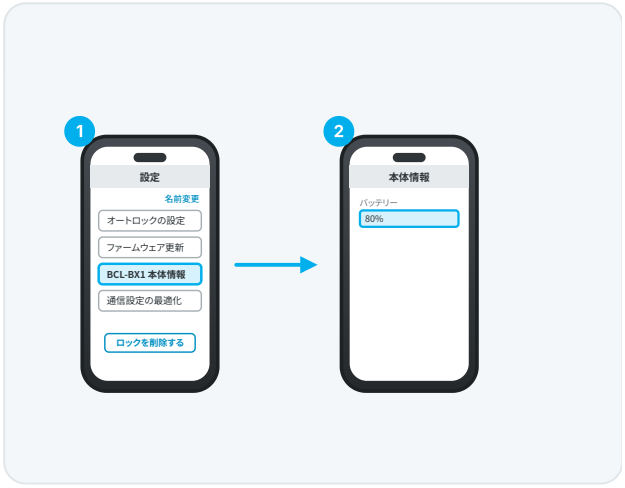
1. メニューの「設定」で「名前変更」をタップします。
2. 名前の部分をタップして書き換えます。
3. 右上の「確認」をタップします。やめるときは左上の「＜」をタップします。



11.4 電池の残量を知りたい

1. メニューの「設定」で「BCL-BX1 本体情報」をタップします。
2. バッテリーの残量が % で表示されます。

> **補足** 残量は解錠・施錠で BX1 とつながったときに更新されます。電池が少なくなると、解錠後に本体の赤い LED が 3 回点滅します。



CHAPTER 06

06 インターネットにつなぐ（Wi-Fi・同期の設定）

QR1 LE を施設の Wi-Fi（2.4GHz）につなぎ、カギをクラウドから受け取る頻度を決めます。つなぐ前に確かめるネットワークの条件、接続の確かめ方、MAC アドレスの調べ方、通信が止まったときに気づく設定までをまとめています。

アプリ設定　QR1 LE

目安時間

約15分

用意するもの

- スマートフォン（KEYVOX Basic をインストール済み）

始める前に

- QR1 のアカウント登録とロックとのペアリングが済んでいること（KEYVOX で設定済みで届いた場合は済んでいます。工場出荷のまま届いた場合（プラン B）は**QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐ**を先に済ませます）
- 施設の 2.4GHz の Wi-Fi の SSID とパスワード

STEP 01

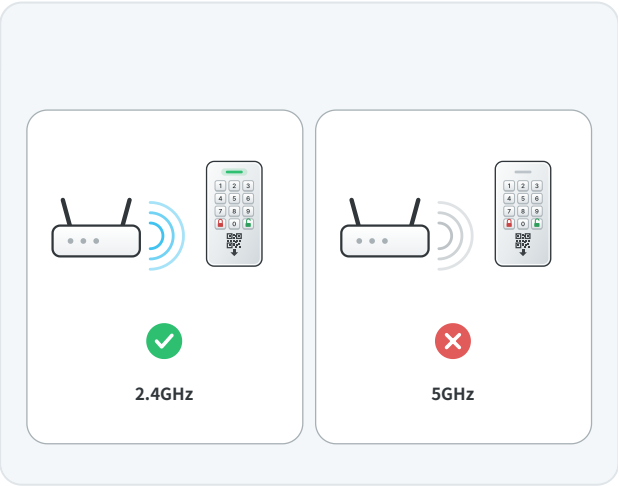
1 つなぐ前に確かめる（ネットワークの条件）

QR1 LE がつながる Wi-Fi には条件があります。施設のネットワーク管理者がいる場合は、このセクションを見せて確かめてもらいます。

1.1 2.4GHz の Wi-Fi を用意する

QR1 LE がつながるのは 2.4GHz 帯（IEEE 802.11 b/g/n、1〜14ch）の Wi-Fi だけです。5GHz にはつながりません。メッシュ Wi-Fi と、SSID を隠した（ステルス）Wi-Fi にはつながります。

> ⚠ **注意** 2.4GHz と 5GHz が同じ SSID になっている Wi-Fi（バンドステアリング）には対応していません。接続が不安定になることがあるので、2.4GHz 専用の SSID を用意します。



1.2 暗号化方式とパスワードを確かめる

1. 暗号化方式は WPA2-PSK（AES）、WPA/WPA2-PSK 混在、WPA2/WPA3 Personal 混在、WPA3-SAE（Personal）、OWE（Enhanced Open）に対応しています。
2. WPA2-Enterprise と WPA3-Enterprise 192-bit には対応していません。
3. SSID は 32 バイトまで、パスワードは 31 文字までです。32 文字以上のパスワードの Wi-Fi にはつながりません。
4. SSID とパスワードは半角英数字・記号をおすすめします（全角文字は非推奨です）。

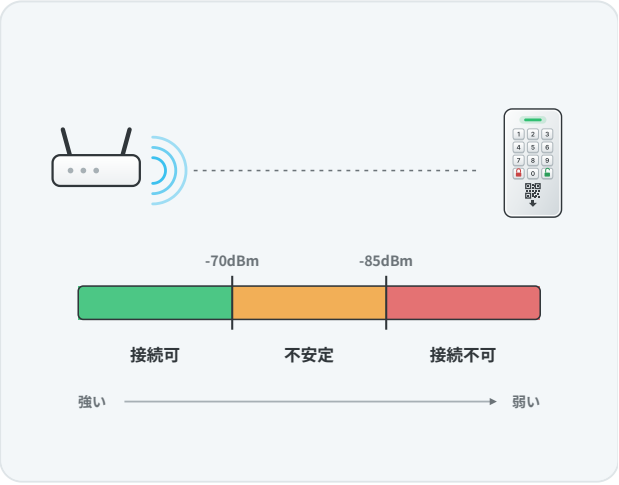
> **補足** WPA3 を使う場合は、QR1 LE のファームウェアを最新にしてからつなぎます。

1.3 つながらない Wi-Fi を避ける

1. IP アドレスは DHCP で自動取得します。固定 IP は設定できません。
2. IPv4 で通信します。DS-Lite（IPv4 over IPv6）の回線でも使えます。
3. プロキシサーバーを経由する通信には対応していません。
4. ログインページやボタン操作が必要な Free Wi-Fi（キャプティブポータル）にはつながりません。パスワードのない Wi-Fi にはつながります。

1.4 電波の強さを確かめる

扉の外にある QR1 の位置で、Wi-Fi の信号強度が -70dBm 以上（0 に近いほど強い）あることを確かめます。-70〜-85dBm では接続が不安定になり、-85dBm より弱いとつながりません。足りない場合は、ルーターの位置や中継器を見直します。



1.5 ネットワーク管理者に通信の許可を頼む

通信を制限しているネットワークでは、QR1 LE からの次の通信を許可してもらいます。

1. KEYVOX のサーバーとの常時接続（TCP）
2. ファームウェアの更新（HTTP 80 / HTTPS 443）
3. DHCP（UDP 67/68）と DNS（UDP 53）

> **補足** サーバーの接続先とポート番号は、ネットワーク管理者向けにサポート（support.keyvox.co）でご案内します。

STEP 02

2 アプリで Wi-Fi を設定する

2.1 インターネット接続設定を開く

1. KEYVOX Basic で対象の QR1 の「⋮」を押し、「設定」＞「インターネット接続設定」を開きます。
2. 工場出荷のまま届き（プラン B）、ペアリングの完了画面から続ける場合は、「Wi-Fi設定に進む」を押しても開けます。
3. 「Wi-Fiでインターネットに接続する」を選びます。



> **補足** WD1 を使う場合は有線 LAN でインターネットにつなぐので、Wi-Fi の設定はいりません。工場出荷のまま届いた場合（プラン B）の「有線LANでインターネットに接続する」の手順は、**QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐ**の WD1 のタブにあります。

2.2 SSID・パスワードと同期の頻度を入れる

1. 「SSID」と「パスワード」を入力します。
2. 「カギの同期の頻度」を選びます。電池で使う場合は「6時間ごと」などがおすすめです。
3. 「カギがない場合 サーバに問い合わせ」は「する」にします。
4. 「次へ」を押します。



> **注意** 電池で使う QR1 LE では「常時」を選ばないでください。電池が数日でなくなります。「常時」は AC 電源で給電している場合だけ選びます。

2.3 同期の設定項目を決める

同じ画面で、カギの受け取り方を細かく決められます。頻度が高いほど乾電池の消耗が早くなります。

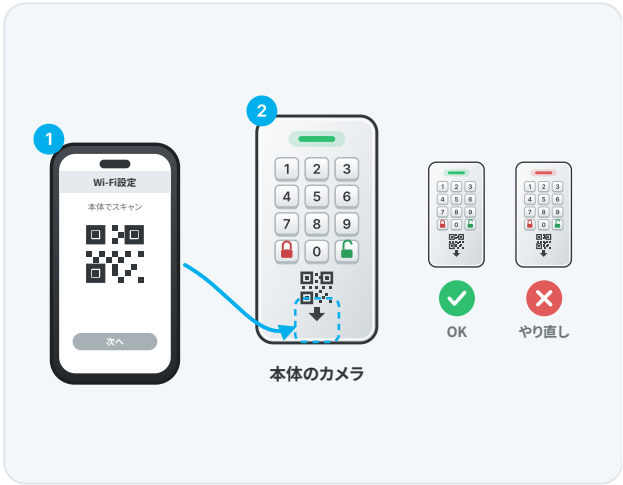
1. カギの同期の頻度: オンラインの QR・暗証番号をクラウドから受け取る間隔です。「常時（AC電源のみ推奨）」「1時間ごと」「6時間ごと」「12時間ごと」「1日1回」「なし」から選びます。「なし」にするとカギが同期されません。
2. 以下の時間は同期を停止する: 深夜帯など、新しいカギが発生しない時間帯の同期を止められます。
3. カギがない場合 サーバに問い合わせ: 読み取った QR・暗証番号が本体にないとき、その場でクラウドに問い合わせます。特に理由がなければ「する」にします。
4. 時計の同期の頻度: カギを同期しない設定でも、本体の時刻だけは合わせられます。



2.4 QR コードを本体で読み取る

1. アプリに「BCL-QR1 インターネット接続設定QR」が表示されます。
2. QR1 本体のカメラ（正面下の読み取り部）に QR コードをかざします。
3. 設定内容に問題がなければ、QR1 の LED が緑に点きます。

> **補足** LED が赤に点いた場合は設定できていません。前の画面に戻って入力し直してください。



2.5 画面が自動で切り替わるまで待つ

QR1 は Wi-Fi の情報を保存したあと、自動でインターネットに接続します。緑の LED が点滅し、接続に成功すると成功音が鳴って、アプリの画面が自動で切り替わります。正しくつながったことを確かめるため、「次へ」は押さずに切り替わるまで待ちます。

> **注意** しばらく点滅したあと赤い LED とエラー音が出たら接続に失敗しています。SSID・パスワード・インターネット環境と電波の強さを確かめてから、もう一度 QR コードを読み取ります。



2.6 Wi-Fi の準備がまだのとき

現地の Wi-Fi がまだ使えない場合も、QR コードを読み取ってから「次へ」を押せば設定を保存できます。Wi-Fi が使えるようになると、QR1 が自動でインターネットに接続します。

STEP 03

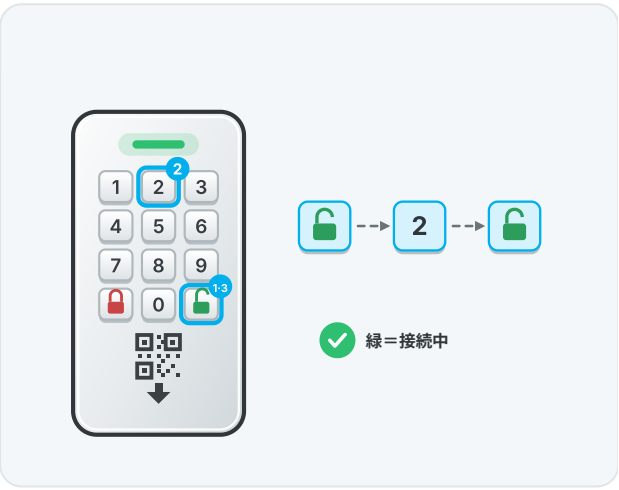
3 接続を確かめる

本体のキー操作で状態を確かめます。どちらも、解錠キー（緑の鍵マーク）→ 数字 → 解錠キーの順に押します。失敗する場合は 2〜3 回試します。

3.1 ルーターにつながっているか確かめる

1. 解錠キー →「2」→ 解錠キーの順に押します。
2. 緑の LED が点滅したあと「ピロリン」と鳴れば、ルーターにつながっています。
3. 「ブー」と鳴って赤の LED が点いたら、つながっていません。Wi-Fi の情報やルーターの電源を確かめます。

> **補足** この操作で分かるのはルーターまでです。ルーターの先のインターネットにつながっているかは、次の強制同期で確かめます。



3.2 クラウドと強制同期する

1. 解錠キー →「1」→ 解錠キーの順に押します。
2. 同期のタイミングを待たずに、サーバーと本体の情報（オンラインの QR・暗証番号）をすぐに反映します。
3. 緑の LED が点滅し、数分で消えれば成功です。最後に「ブー」と鳴って赤が点いたら失敗です。



3.3 QR カギで解錠を試す

KEYVOX Basic に表示されるカギの QR コードを QR1 にかざし、実際に解錠できるかを確かめます。

STEP 04

4 MAC アドレスを確かめる

ネットワーク管理者に MAC アドレスの登録を求められたときに使います。

4.1 Wi-Fi と Bluetooth の MAC アドレスを見る

1. Wi-Fi MAC アドレス: KEYVOX 管理画面（BACS）の 設定 ＞ デバイス で対象の詳細を開き、[デバイス本体の情報] を展開すると表示されます。
2. BLE（Bluetooth）MAC アドレス: 本体に印刷された、または裏面のシールの QR コードを読み取ると出る URL（link.keyvox.co/QR1LE/ のあと）の 12 文字です。

> **補足** 管理画面に Wi-Fi MAC アドレスが出ない場合は、QR1 LE のファームウェアを最新にしてから確かめます。



STEP 05

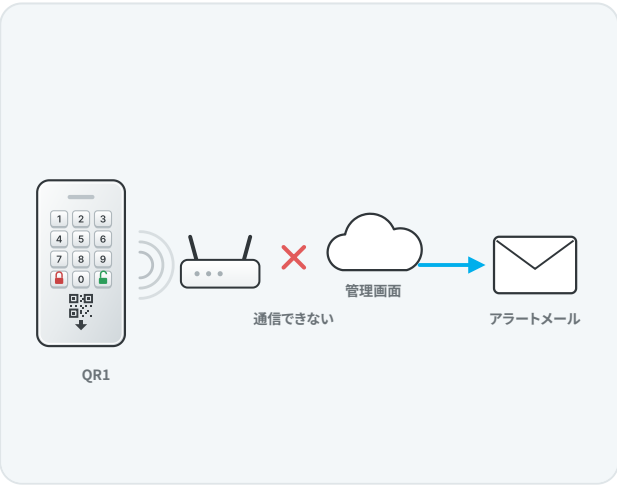
5 通信が止まったときに気づけるようにする

5.1 通信エラーのアラートメールを設定する

QR1 がインターネットにつながらなくなったときや、連携しているロックとの Bluetooth が切れたときに、KEYVOX 管理画面（BACS）からアラートメールを送れます。管理画面の「設定」で通信エラーのアラートを有効にし、受け取るメールアドレスも登録します。

1. 常時接続の場合: 管理画面で指定した頻度で、通信エラーのアラートが届きます。
2. 1時間ごとなどの定期接続の場合: 接続する予定の時間に通信できなかったときにアラートが届きます。

> **補足** Wi-Fi が切れると、QR1 LE は約 30 秒おきに 3 回、そのあとは約 5 分おきに自動で再接続を試みます。アラートが届いたら、ルーターの電源や電波の強さを確かめます。



5.2 長くつながらないままにしない

QR1 はサーバーとの通信で時刻を合わせています。長い間インターネットにつながらないと内蔵の時計がずれ、期限付きのカギの有効期限の判定に影響することがあります。

> **補足** BR1 はインターネットにつながなくても使えますが、時計がずれるおそれがあり、解錠の履歴もインターネット経由で取得します。インターネットが使える場所では接続を強くおすすめします。

STEP 06

6 ファームウェアを最新にする

6.1 つながったらファームウェアを更新する

インターネットにつながったら、使い始める前に QR1 LE のファームウェアを最新にします。手順は**日常の保守（ファームウェア・電池・本体コマンド）**にあります。

動画で見る

【動画マニュアル #5】BCL-QR1 LE を Wi-Fi に接続する youtu.be/c1tXYcoAdr8

CHAPTER 07

07 QR1 の本体設定を変える

時刻・音量、ロックアウト、のぞき見防止などの QR1 本体の設定は、KEYVOX Basic で選んで表示した QR コードを本体で読み取って反映します。共通の流れと、設定ごとの内容をまとめています。臨時の暗証番号の登録、暗号化キーの変更、配ったオフライン QR の無効化もここで扱います。

アプリ設定　QR1 LE

目安時間

1 項目あたり約5分

用意するもの

- スマートフォン（KEYVOX Basic をインストール済み）

始める前に

- QR1 をアカウントに登録し終えていること
- QR1 の前で作業できること（設定は本体で QR コードを読み取って反映します）

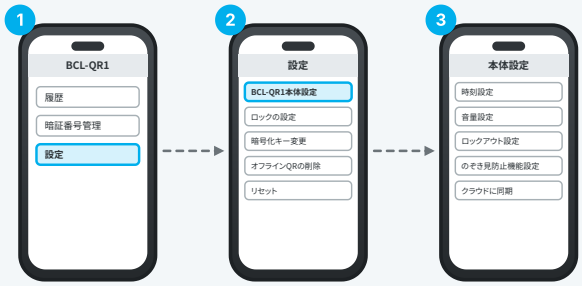
STEP 01

1 共通の流れ（アプリで選ぶ → 本体で読み取る）

本体の設定はどれも同じ流れです。アプリで変えただけでは本体に反映されません。必ず QR1 本体で QR コードを読み取り、緑の LED を確かめます。

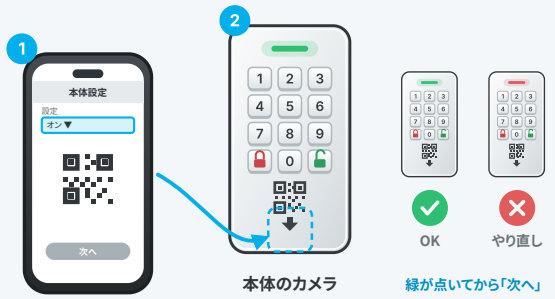
1.1 設定メニューを開く

1. KEYVOX Basic で対象の QR1 の「⋮」を押し、デバイスメニューの「設定」を開きます。
2. 時刻・音量・ロックアウト・のぞき見防止・クラウドへの同期は「BCL-QR1本体設定」の中にあります。
3. 「暗号化キー変更」と「オフラインQRの削除」は「設定」の一覧に、「暗証番号管理」はデバイスメニューにあります。



1.2 変えたい内容を選び、QR コードを本体で読み取る

1. 項目を選び、プルダウンなどで新しい内容を選びます。画面を開いたときは今の設定が表示されています。
2. 表示された設定用の QR コードを、QR1 本体のカメラにかざします。読み取りにくい場合は、QR コードの右下のアイコンで拡大できます。
3. QR1 の緑の LED が点いたら「次へ(緑LEDが点灯した)」を押し、完了の表示が出たら「完了する」を押します。



> ⚠ **注意** 緑の LED が点く前に「次へ」を押さないでください。アプリには設定が保存されますが、QR1 本体には反映されません。赤の LED が点いた場合は設定できていないので、QR コードの読み取りからやり直します。

STEP 02

2 BCL-QR1本体設定の項目

どの項目も、上の共通の流れで反映します。

設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN **時刻・音量**

2.A1 時刻を合わせる

「時刻設定」で本体の時刻を指定します。インターネットにつながっている QR1 は、サーバーとの通信で時刻が自動で合うので、通常は変える必要はありません。インターネットを使わない場合は、時計がずれないよう定期的に合わせます。

> ℹ **補足** 時計がずれると、期限付きのカギの有効期限の判定に影響することがあります。

2.A2 音量を変える

「音量設定」で、操作音・成功音などの音量を選びます。周りの環境に合わせて決めます。

B PATTERN ロックアウト

2.B1 認証エラーの回数を決める

暗証番号や QR を続けて間違えると、5 分間 QR1 から解錠できない「ロックアウト状態」になります。いたずらや総当たりを防ぐ機能です。「ロックアウト設定」で、ロックアウトになるまでの認証エラーの回数を選びます。

1. 初期設定は 7 回です。
2. 解錠できない時間は 5 分で、変えられません。
3. 「オフ」にするとロックアウトしなくなります。

> **補足** この設定はファームウェアが古いと選べません。項目がない場合は、ファームウェアを最新にしてから設定します。



C PATTERN のぞき見防止

2.C1 のぞき見防止機能をオン・オフにする

正しい暗証番号の前後にダミーの数字を足して入力しても解錠できるようにする機能です。キーパッドに残る指紋や、入力をのぞき見られることから暗証番号を推測されにくくなります。「のぞき見防止機能設定」で「オン」か「オフ」を選びます。

1. ダミーを足すときは、合計 7〜12 桁にします。その中に正しい暗証番号が含まれていれば解錠できます。
2. 合計が 6 桁以下や 13 桁以上では解錠できません（暗証番号だけを入力した場合は解錠できます）。
3. 例: 暗証番号が「123456」の場合、「98123456」（8 桁）は解錠でき、「1234567890123」（13 桁）は解錠できません。

> **補足** 反映できると「のぞき見防止暗証番号を変更しました。」と表示されます。使う人に入力のしかたを伝えておきます。

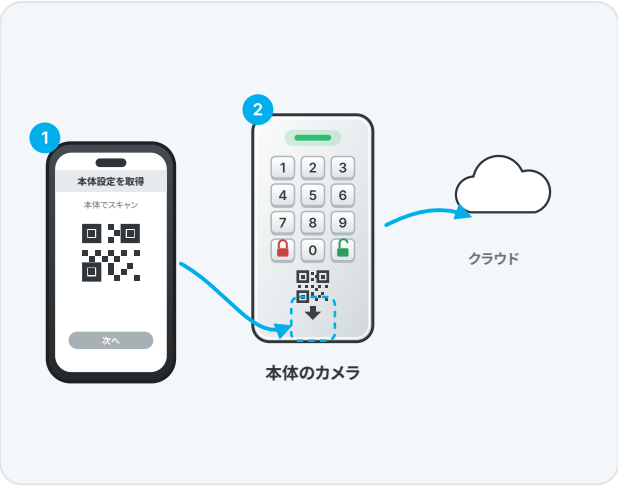


D PATTERN **クラウドに同期**

2.D1 本体の設定を管理画面に送る（通常は不要）

「BCL-QR1本体設定をクラウドに同期」を選び、表示されたQR コードを本体で読み取ると、本体の設定が KEYVOX 管理画面（BACS）の 設定 ＞ デバイス ＞ 詳細 に反映されます。動作を確かめるための機能で、通常は使う必要はありません。サポートから案内があったときに使います。

> **補足** カギや暗証番号をすぐに受け取りたいときは、こちらではなく本体の強制同期（解錠キー →「1」→ 解錠キー）を使います。



---

3 STEP 03 本体に直接暗証番号を登録する（臨時用）

3.1 暗証番号管理から登録する

1. 対象の QR1 の「：」を押し、デバイスメニューの「暗証番号管理」を開きます。
2. 「＋」を押します。
3. 登録したい暗証番号を画面の指示に従って入力し、本体に登録します。

> **注意** ここで登録した暗証番号は KEYVOX 管理画面（BACS）に反映されず、解錠の履歴も後から確かめられません。管理画面から発行できないときの臨時の手段として使います。



STEP 04

4 暗号化キーを変える（高度な設定）

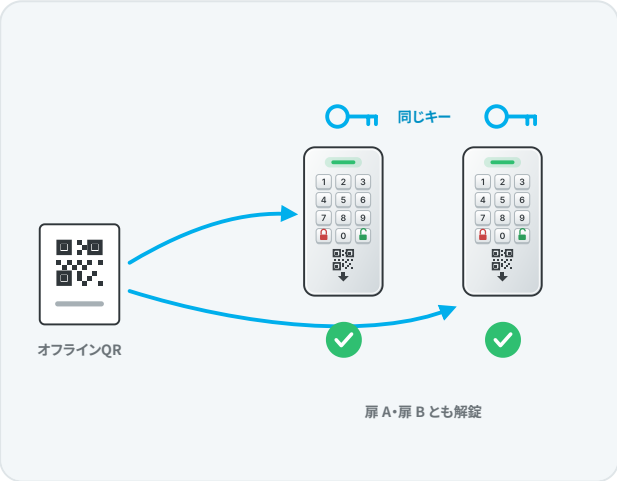
オフライン QR の使い方に影響する設定です。必要なときだけ変えます。

4.1 暗号化キーのしくみを知る

オフライン QR コードは、QR1 本体に登録された「暗号化キー」で計算して作ります。本体とクラウドが同じ暗号化キーを持つので、インターネットで通信しなくても QR1 が正しいカギかを判断できます。暗号化キーは通常、自動で割り当てられ、クラウドにも保存されています。

4.2 複数の QR1 で暗号化キーをそろえる

1. 対象の QR1 の「⋮」>「設定」>「暗号化キー変更」を開きます。
2. 画面の指示に従って、ほかの QR1 の暗号化キーをコピーしてそろえます。
3. そろえた QR1 どうしは、同じオフライン QR で解錠できます。1 つの部屋に扉が複数ある場合などに使います。



> ⚠ **注意** 暗号化キーが漏れると、第三者がオフライン QR を自由に作れてしまいます。取り扱いに注意してください。暗号化キーを変えると、発行済みのオフライン QR が使えなくなることがあります。

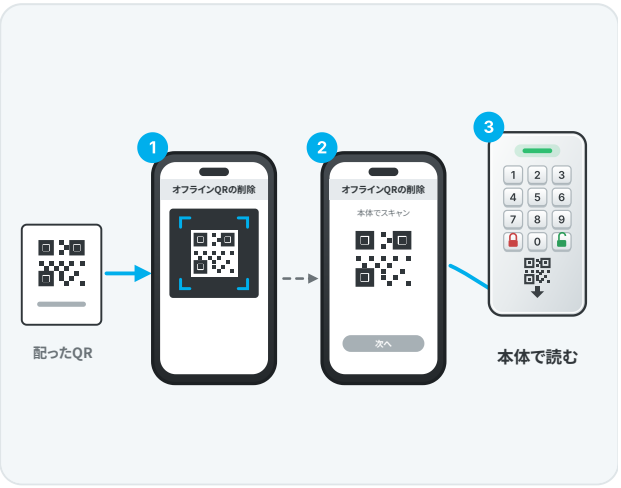
STEP 05

5 配ったオフライン QR を無効にする

管理画面（BACS）で発行したオフライン QR は、配ったあとは取り消せません。どうしても取り消す必要があるときは、アプリから本体に無効化を登録します。

5.1 無効にする QR を読み取り、本体に登録する

1. 対象の QR1 の「：」>「設定」>「オフラインQRの削除」を開きます。
2. 無効にしたいオフライン QR を、アプリのカメラで読み取ります。
3. 表示された無効化設定の QR コードを、QR1 本体のカメラで読み取ります。



> ⚠ **注意** 無効にできるのは 20 個までです。それを超えると、本体のリセットか暗号化キーの変更が必要になり、発行済みのオフライン QR がすべて使えなくなります。無効にした QR は元に戻せません。

CHAPTER 08

08 カギを配る（アプリ・ロッカー・予約）

利用者に QR1 のカギを渡す方法をまとめます。KEYVOX Basic に出すオフラインQR とユーザーQR、API で発行するオフライン暗証番号（ベータ）の違いと、ロッカーと同じ QR で開ける設定、予約したゲストに Wi-Fi 解錠を許す設定を説明します。

アプリ設定 | QR1 LE | スマートロッカー

目安時間
約15分

用意するもの
- パソコン（WEB 管理画面 BACS）
- スマートフォン

始める前に
- QR1 の登録・ペアリングが済んでいること
- WEB 管理画面（BACS）にログインできること
- QR1 のファームウェアと、利用者の KEYVOX Basic が最新になっていること

STEP 01

1 カギの種類を選ぶ

どれも WEB 管理画面（BACS）で利用者とアクセス権を決めて配ります。インターネットの状態と使い方で選びます。

1.1 3 種類のカギの違い

1. オフラインQR（スマートロックのカギ）：ロックごとに違う QR が利用者のアプリに出て、15分ごとに変わります。QR1 がインターネットにつながっていなくても開けられます。
2. ユーザーQR：利用者ごとに 1 つの QR で、アクセス権のあるロック・ロッカーすべてに使えます。印刷やメールでも渡せますが、QR1 が常時インターネットにつながっている必要があります。
3. オフライン暗証番号（ベータ）：KEYVOX API で発行する 10 桁の番号です。インターネットがなくても使えますが、一度発行すると取り消せません。



1.2 選び方の目安

1. QR1 を電池で動かし、常時インターネットにつながない場合は、オフラインQR を使います。
2. オフィスや会員のように利用者が決まっていて、ロッカーも同じ QR で開けたい場合は、ユーザーQR を使います。
3. 自社のシステムから API で暗証番号を発行したい場合は、オフライン暗証番号を使います。

> **補足** どのロックを開けられるかは、利用者のアプリには表示されません。アクセスの内容は、オーナーから利用者に伝えてください。

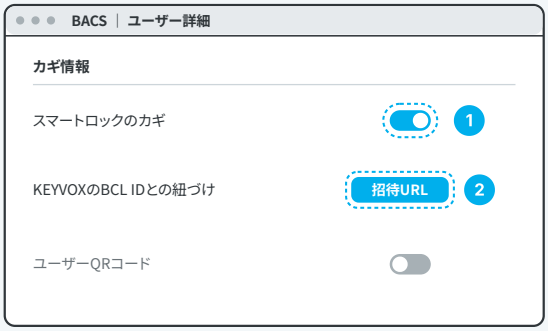
STEP 02

2 アプリにオフラインQR を出す

BACS で設定すると、利用者の KEYVOX Basic に解錠用の QR コードが出ます。

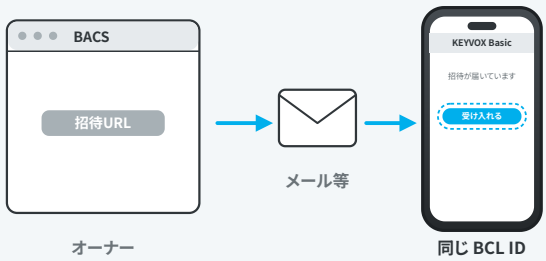
2.1 利用者の「スマートロックのカギ」をオンにする

1. BACS の「設定」>「ユーザー・グループ」で利用者を登録します。
2. ユーザー詳細の「カギ情報」で「スマートロックのカギ」をオンにします。
3. 「KEYVOXのBCL IDとの紐づけ」から、招待URL を利用者に送ります。



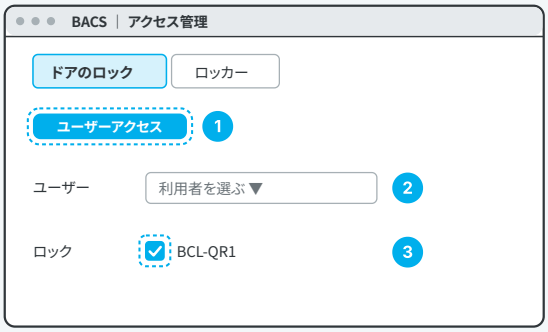
2.2 利用者が招待を受け入れる

1. 利用者は、自分の KEYVOX Basic と同じ BCL ID でログインします。
2. 届いた招待を受け入れます。



2.3 開けてよい QR1 を割り当てる

1. BACS の「アクセス管理」>「ユーザーアクセス」を開きます。
2. 利用者を選び、開けてよい QR1 にアクセス権を付けます。



2.4 利用者のアプリで開ける

1. 利用者の KEYVOX Basic に、解錠用の QR コードが出ます。
2. QR コードは15分ごとに自動で変わります。
3. QR1 本体のカメラにかざすと、アクセス管理で決めた内容のとおりに解錠します。



3 STEP 03 アプリにユーザーQR を出す

BACS で利用者ごとに割り当てる QR コードを、利用者の KEYVOX Basic に表示します。

3.1 利用者の「ユーザーQRコード」をオンにする

1. BACS の「設定」>「ユーザー・グループ」で利用者を登録します。
2. ユーザー詳細で「ユーザーQRコード」をオンにします。
3. 利用者に QR を作り直させたい場合は、「ユーザーによる再設定を許可する」にチェックします。
4. 「KEYVOXのBCL IDとの紐づけ」から招待URL を送り、利用者に受け入れてもらいます。



3.2 利用者のアプリで開ける

1. 利用者の KEYVOX Basic に、BACS のユーザー情報と同じ QR コードが出ます。
2. アクセス管理で決めた QR1 やロッカーを、この QR で開けられます。
3. 再設定を許可した場合は、利用者がアプリからいつでも QR を作り直せます。

> ⚠ **注意** ユーザーQR はクラウドで照合するため、QR1 が常時インターネット（Wi-Fi）につながっている必要があります。



STEP 04

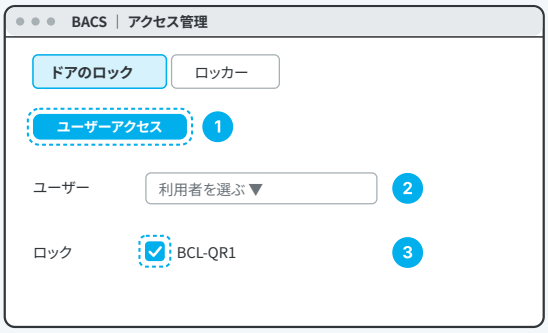
4 ロックとロッカーを同じ QR で開ける

QR1 とスマートロッカーを併せて使う場合、同じ QR コードで両方を開けられます。利用者が決まっているオフィスや会員向けの方法です。

4.1 ドアのロックとロッカーの両方にアクセス権を付ける

1. BACS の「アクセス管理」＞「ドアのロック」で「ユーザーアクセス」を選び、利用者を登録します。
2. 「アクセス管理」＞「ロッカー」でも同じ利用者を登録します。
3. 利用者のユーザー詳細で「ユーザーQRコード」をオンにします。

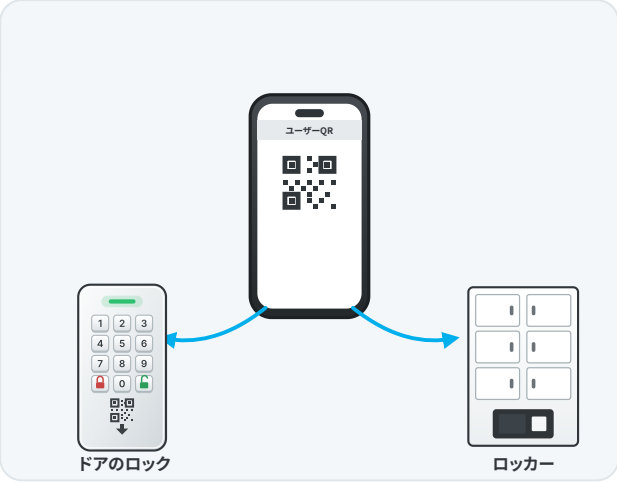
> ℹ **補足** 利用者は先に「設定」＞「ユーザー・グループ」で作っておきます。



4.2 同じ QR で両方を開ける

1. 利用者のユーザーQR で、QR1 のドアとロッカーの両方を開けられます。
2. ユーザー詳細の「オリジナルQRコード」に好きな文字列を登録して、それをカギにすることもできます。

> **補足** オリジナルQRコードで QR1 を開けるには、QR1 側の設定も必要です（**動作のカスタマイズ（高度な設定）と活用例**を参照）。ロッカーのアプリと QR1 のファームウェアは最新にしておきます。



4.3 同じ暗証番号で開けたいとき

1. ユーザーアクセスは暗証番号には対応していません。
2. QR1 は「アクセス管理」＞「ゲストアクセス」で、6 桁の番号を指定して暗証番号（オンライン暗証番号）を発行します。
3. ロッカーは「ロッカー管理」から、同じ番号を指定して利用登録します。

> **注意** ゲストがロッカーでボックスの返却をすると、ボックスは返却扱いになり、オーナー側で設定し直す必要があります。

STEP 05

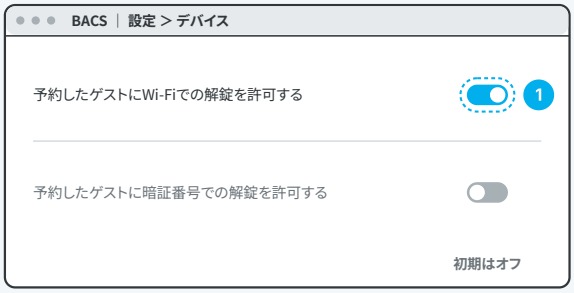
5 予約したゲストに Wi-Fi 解錠を許す

予約サービス「BOOKINGX」「KEYVOX Go」のゲスト画面に、インターネット経由で QR1 を開ける「Wi-Fi解錠」ボタンを出せます。

5.1 BACS で Wi-Fi 解錠を許可する

1. BACS の「設定」＞「デバイス」で、対象の QR1 を開きます。
2. 「予約したゲストにWi-Fiでの解錠を許可する」をオンにします。

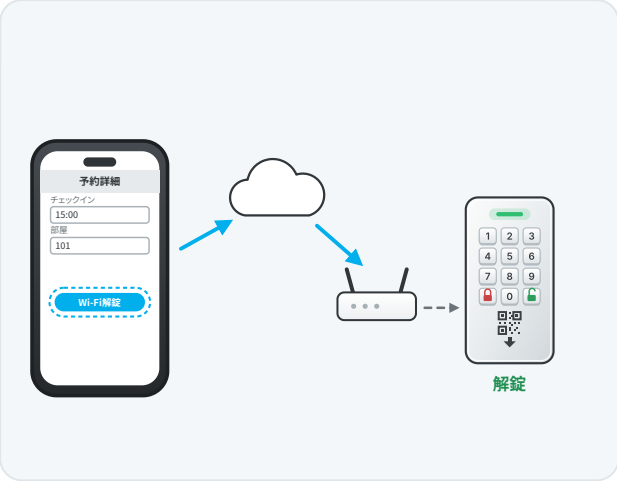
> **注意** 初期状態はオフです。離れた場所から開けられるようになるので、予約サービスの使い方に合わせて許可するかを決めてください。



5.2 ゲストの画面にボタンが出る

1. 許可すると、予約したゲストの画面に「Wi-Fi解錠」ボタンが出ます。
2. ゲストがボタンを押すと、インターネット経由で QR1 が解錠します。

> **補足** Wi-Fi 解錠が使えるのは、QR1 をインターネットと常時接続に設定し、問題なくつながっているときだけです。



STEP 06

6 （ベータ）オフライン暗証番号を API で発行する

QR1 LE が時計と暗号化キーから番号を計算して照合する暗証番号です。番号を本体に送らないので、インターネットがなくても使えます。開発中のファームウェアが必要なベータ版の機能です。

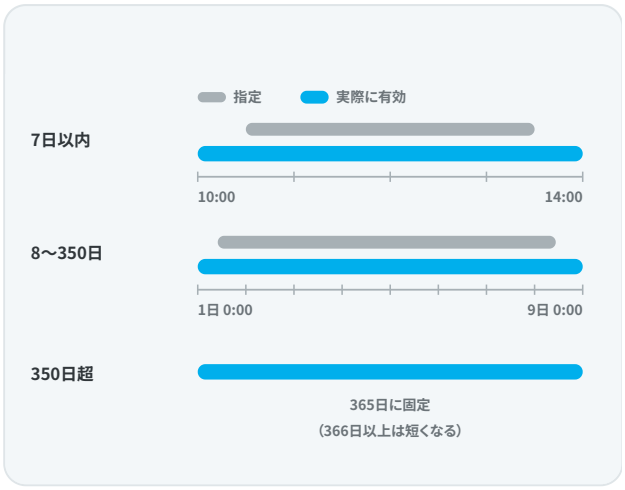
6.1 使えるところ

1. KEYVOX API の「createLockPin」「issueLockKey」で発行します。BACS の画面・予約・チェックインには、まだ対応していません。
2. 「createLockPin」と「issueLockKey」（keyType=0）は、BACS のデバイス詳細で「暗証番号の方式」を「オフライン」にした QR1 LE が対象です。「issueLockKey」（keyType=1）は方式によらず対象です。
3. 番号は 10 桁で、サーバーが決めます。「pinCode」で番号を指定しても無視されます。
4. 「issueLockKey」でメール通知を選ぶと、メールに 10 桁の番号と QR コードが載ります。

> **補足** 対応ファームウェアに更新していない QR1 には、オフライン暗証番号は発行されません（API の応答・メールに番号が載りません）。

6.2 有効期間は丸められる

1. 7日以内：1時間単位です。開始はその時間の0分に切り下げ、終了は次の正時に切り上げます（例：10:30〜13:30 → 10:00〜14:00）。
2. 8日〜350日：1日単位です。開始はその日の0:00、終了は終了日の翌日0:00になります（例：1日10:00〜8日10:30 → 1日0:00〜9日0:00）。
3. 350日を超える：365日に固定です。366日以上を指定すると、指定より短い365日になります。
4. 時刻はすべて日本時間です。実際の有効期間は指定より長くなるので、その幅を見込んで指定します。



6.3 発行した番号は取り消せない

1. 画面や API で削除しても、番号は失効しません。有効期間のあいだは、その番号で解錠できます。
2. 誤って発行した番号も取り消せません。有効期間は必要以上に長くしないでください。

> ⚠ **注意** 取り消せないカギです。長い期間の番号を渡す前に、本当に必要な期間かを確かめてください。

6.4 履歴と時計についての注意

1. 丸めた結果が同じ期間なら同じ番号になるため、番号から誰に渡したものかは分かりません。
2. 同じ番号を複数発行した場合、解錠の履歴に出る名前はそのうち 1 件だけで、実際に開けた人とは限りません。
3. 期間外の番号と間違った番号は区別されず、どちらも認証エラーになります。
4. 判定は QR1 の時計で行います。インターネットにつながない運用でも、半年に1回程度は時計を合わせてください。

6.5 複数台・乗り換えのとき

1. 暗号化キーを複数台でそろえると、同じ番号で複数の QR1 LE を開けられます（どれか 1 台だけを開けることはできません）。
2. 1 つのドアに QR1 LE を含む複数台を紐づけていると使えません。そのドアには QR1 LE を 1 台だけ紐づけます。
3. ほかの機種から乗り換えるときは、同じドアに紐づいたままの別機種を先に外します。外さないと「createLockPin」がエラーになります。
4. 番号を指定していたシステムは、10 桁の番号が返ることを前提に、画面表示・通知文・入力チェックを直してください。

CHAPTER 09

09 動作のカスタマイズ（高度な設定）と活用例

KEYVOX Basic の「動作のカスタマイズ(高度な設定)」で、QR1 にかざされた QR コードの扱いと、認証に成功したあとの動作を変えます。自社の QR コードをカギにする、QR1 を QR コードの読み取り機にして自社システムへ送る、本体に印刷された QR の遷移先を変える、の 3 つの活用例をまとめます。

アプリ設定　QR1 LE

目安時間

約10分

用意するもの

- スマートフォン（KEYVOX Basic）
- パソコン（KEYVOX 管理画面「BACS」）

始める前に

- QR1 のアカウントへの登録とロックとのペアリングが終わっていること
- QR1 のファームウェアが最新に更新されていること
- 任意の QR コードを使う場合は、QR1 が Wi-Fi に常時接続できること（AC 電源で給電している場合）

STEP 01

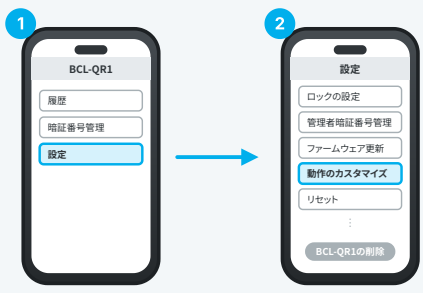
1 設定の意味を知る

「カギQRコードの設定」で QR コードの扱いを 1 つ選び、「認証後の動作」で認証のあとに行うことを選びます（複数選べます）。

1.1 設定画面を開く

1. KEYVOX Basic で、対象の QR1 の「･･･」（⋮）を押します。
2. 「設定」を押します。
3. 「動作のカスタマイズ(高度な設定)」を押します。

> ⚠ **注意** 高度な設定です。設定によってはカギで解錠できなくなったり、反応が遅くなったりします。変更する前に今の設定を控えておいてください。



1.2 出荷時の設定を確かめる

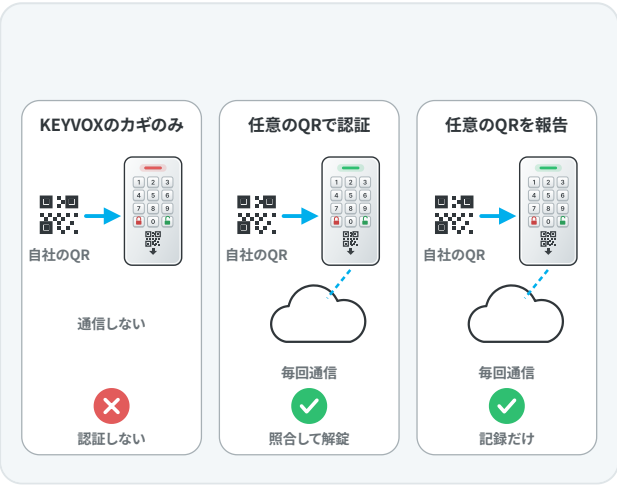
出荷時は「KEYVOXのカギのみを認証する」と「Bluetooth方式のスマートロックを解錠する」が選ばれています。KEYVOXから発行したカギ（QR コード・暗証番号）は、カギQRコードの設定をどれにしても使えます。



1.3 カギQRコードの設定（3 つから 1 つ）

違いが出るのは、KEYVOX のカギ以外の QR コードをかざしたときです。

1. 「KEYVOXのカギのみを認証する」（出荷時）: 本体だけで認証し、通信は発生しません。数字だけの QR コードは暗証番号として照合し、それ以外は認証しません（赤い LED と失敗音）。
2. 「任意のQRコードで認証する」: BACS に登録した QR コードとクラウドで照合し、一致すればカギとして認証します。かざすたびに通信が発生します。
3. 「任意のQRコードをサーバに報告する」: 認証はせず、QR コードの内容をクラウドに報告します。かざすたびに通信が発生します。



> **補足** 「任意のQRコードで認証する」「サーバに報告する」は、かざすたびにインターネット経由でクラウドに問い合わせるため、Wi-Fi との常時接続が必要です。通信の分だけ反応に時間がかかります。

1.4 認証後の動作（複数選べる）

1. 「Bluetooth方式のスマートロックを解錠する」: ペアリングしている Bluetooth のロックを解錠します。外すと、緑の LED と成功音で知らせるだけになります。
2. 「クラウドに連携する」: 認証に成功するたびにクラウドへ通知し、BACS で設定した動作（Wi-Fi 方式のロックの解錠など）を行います。施錠ボタンを押したときも通知します。
3. 「クラウド連携後、結果をBCL-QR1のLEDランプ、サウンドに反映する」: クラウドでの動作の結果を待ってから、LED と音で成功・失敗を知らせます。

> ⚠ **注意** 「Bluetooth方式のスマートロックを解錠する」と「クラウドに連携する」の両方を外すと、認証に成功してもどのロックも解錠されません。

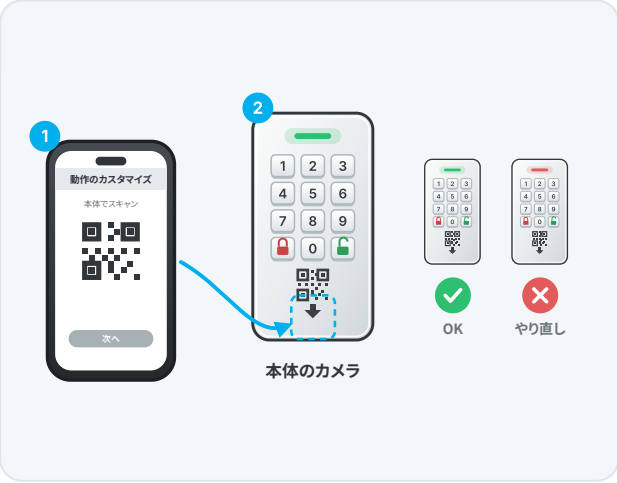
1.5 結果の反映の決まり

「Bluetooth方式のスマートロックを解錠する」にチェックがあるときは、Bluetooth のロックの解錠結果を知らせるので、「結果を…反映する」は選べません。Bluetooth を外して「クラウドに連携する」にチェックを入れると、「結果を…反映する」に自動でチェックが入ります。

> ⓘ **補足** 「クラウドに連携する」を使うときは、BACS の「設定」＞「デバイス」で QR1 の「詳細」を開き、「動作のカスタマイズ - クラウド連携」で動作と連携先を設定します。設定がないと、通知しても何も動きません。通知は Webhook の「クラウド連携」「クラウド連携（施錠ボタン）」として受け取ることもできます。

1.6 設定を本体に反映する

1. 設定を選んで「次へ」を押すと、設定用の QR コードが表示されます。
2. QR1 本体のカメラにかざします。
3. 緑の LED が点いたら「次へ(緑LEDが点灯した)」を押して完了です。



> ⚠ **注意** 赤い LED が点いた場合は反映されていません。最初からやり直してください。今の設定は、BACS の「設定」＞「デバイス」で QR1 の詳細を開くと確かめられます。

STEP 02

2 活用例: 自社の QR コードをカギにする

自社で発行している QR コードの文字列を、KEYVOX のカギに追加して使えるようにします。KEYVOX のカギはこれまでどおり使えます。

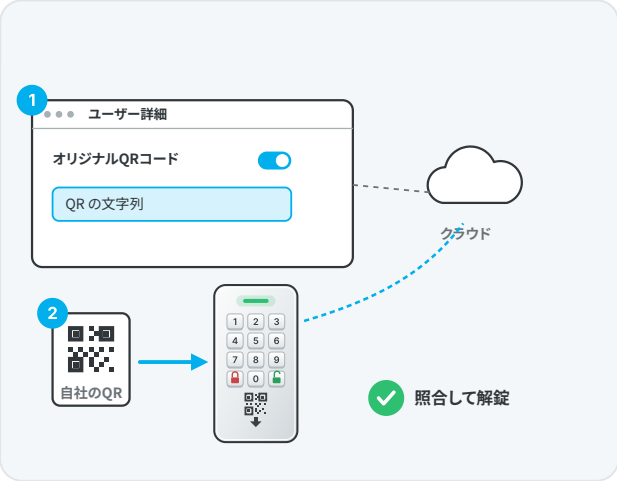
2.1 「任意のQRコードで認証する」に変える

1. 「動作のカスタマイズ(高度な設定)」を開きます。
2. カギQRコードの設定で「任意のQRコードで認証する」を選びます。
3. 認証後の動作は「Bluetooth方式のスマートロックを解錠する」のまま「次へ」を押します。
4. 表示された QR コードを本体で読み取り、緑の LED を確かめて完了します。



2.2 BACS でオリジナル QR コードを登録する

1. BACS の「設定」>「ユーザー・グループ」で、使う人(ユーザー)の詳細を開きます。
2. 「オリジナルQRコード」をオンにし、QR コードの文字列を入れて保存します(CSV の一括登録でも登録できます)。
3. 「アクセス管理」>「ユーザーアクセス」で、この QR1 を関連付けたドアへのアクセスを発行します。



> **補足** 入れられる文字列は UTF-8 で 200 バイトまでです。全角文字は読み取れないことがあるので、使う場合は先に動作を確かめてください。

STEP 03

3 活用例: 読み取った QR の内容を自社システムに送る

QR1 をカギとしてではなく、QR コードの読み取り機として使います。読み取った内容はクラウドに送るだけで、解錠には使えません。

3.1 「任意のQRコードをサーバに報告する」に変える

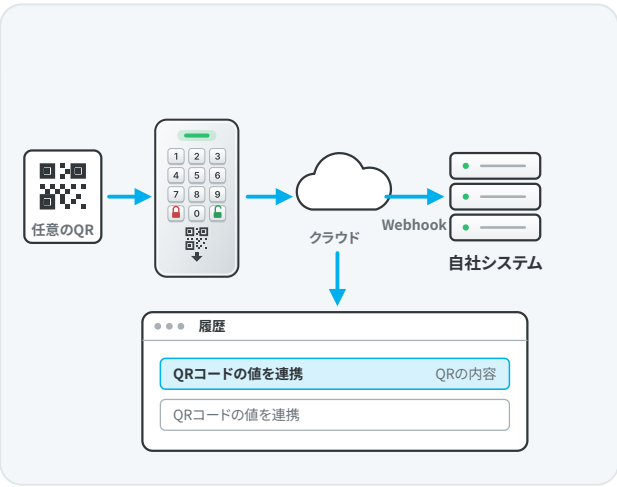
1. カギQRコードの設定で「任意のQRコードをサーバに報告する」を選びます。
2. 認証後の動作の「クラウドに連携する」にチェックを入れます。
3. 「次へ」を押し、表示された QR コードを本体で読み取って、緑の LED を確かめます。

> ⚠ **注意** 「クラウドに連携する」にチェックがないと報告されず、かざすたびに失敗音が鳴ります。この設定では「Bluetooth方式のスマートロックを解錠する」は表示されず、Bluetooth のロックは解錠されません。



3.2 読み取った内容を確かめる

読み取った QR コードは、BACS の「履歴」に種別「QRコードの値を連携」として記録され、内容はユーザー欄に表示されます。Webhook を設定すると、同じ履歴を自社のシステムに送れます。



STEP 04

4 活用例: 本体に印刷された QR の遷移先を変える

本体の QR コードをスマートフォンで読み取ったときに開くページを、施設のご案内などに変えられます（オプションサービス）。

4.1 対応している本体か確かめる

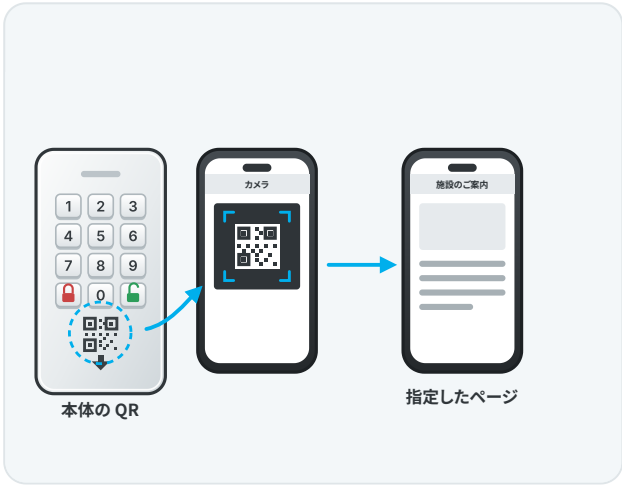
本体に印刷された QR コードをスマートフォンで読み取り、「https://link.keyvox.co/QR1/…」の形の URL が出る本体だけが対象です。それ以外の形の URL や、URL でない場合は使えません。

> ⚠ **注意** 一部の機種だけの機能です。非対応の機種はサポートの対象外です。

4.2 BACS で遷移先の URL を指定する

1. BACS の「設定」＞「デバイス」で、対象の QR1（または BX1）の詳細を開きます。
2. 遷移先の URL を入れて保存します。
3. 本体の QR コードを読み取り、指定したページが開くことを確かめます。

> ℹ **補足** 指定がない場合は、KEYVOX サービスのページが開きます。



CHAPTER 10

10 その他の機器・連携（Akuvox・仮想ロック）

インターホンの Akuvox を管理画面（BACS）に登録する方法と、実機なしで試せる仮想スマートロックの登録をまとめます。

アプリ設定 | QR1 LE

目安時間
各10分

用意するもの
- パソコン（管理画面 BACS）
- スマートフォン（KEYVOX Basic）

始める前に
- KEYVOX サービスの申し込みと、管理画面（BACS）にログインできるアカウント（KEYVOX Basic と同じ ID）

STEP 01

1 Akuvox を登録する

Akuvox は QR1 とは直接つながりません。管理画面（BACS）にデバイスとして登録して使います。

1.1 アカウント情報を用意する

Akuvox の販売店（正規代理店）から、デバイスごとに次の情報を受け取ります。

1. アカウント
2. パスワード
3. ゲートウェイ
4. roomId

> **補足** Akuvox の機器とアカウント情報については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

1.2 BACS に Akuvox を追加する

1. BACS の左メニューの「設定」を開き、「デバイス」→「デバイスを追加」を押します。
2. 「ロックの種類」で「Akuvox」を選びます。
3. 用意したアカウント情報を入れ、「OK」を押します。

> **補足** 登録したら、BACS でドアに紐づけて使います。



2 STEP 02 テスト用の仮想スマートロックを登録する

実機を買う前に、KEYVOX サービスの動作確認や API の開発に使うデータを作れます。

2.1 仮想 BCL-QR1 を追加する

1. BACS の「設定」→「デバイス」で「デバイスを追加」を押します。
2. 「ロックの種類」で「仮想BCL-QR1」を選び、「OK」を押します。
3. QR1 をペアリングしたときと同じ形のデータが作られます。

> **補足** 状態や開け閉めの応答は決まった値を返します。画面や API のやり取りの確認に使ってください。実機がないので、実際の解錠のテストはできません。



CHAPTER 11

11 日常の保守（ファームウェア・電池・本体コマンド）

QR1 LE を使い続けるための保守です。ファームウェアを最新に更新する手順と終わらないときの対処、電池残量の確かめ方と残量が減ったときの知らせ、本体のキーで行うコマンド（強制同期・ルーター接続チェック）をまとめます。

アプリ設定　QR1 LE

用意するもの

- スマートフォン（KEYVOX Basic）

始める前に

- QR1 のアカウントへの登録と Wi-Fi の設定が終わっていること

STEP 01

1 ファームウェアを最新に更新する

品質改善と機能追加のため、ファームウェアは不定期に更新されます。インターネットへの接続が必要です。

1.1 ファームウェア更新を開く

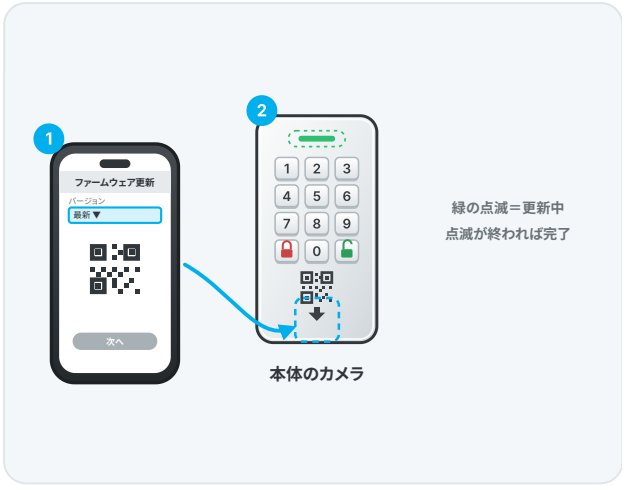
1. KEYVOX Basic で、対象の QR1 の「・・・」（⋮）を押します。
2. 「設定」を押します。
3. 「ファームウェア更新」を押します。



1.2 最新を選んで本体で読み取る

1. 更新するファームウェアは、最新のものを選びます。
2. 表示されたアップデート用の QR コードを、QR1 本体のカメラにかざします。
3. 自動で更新が始まり、更新中は LED が緑に点滅します。点滅が終われば完了です。

> ⚠ **注意** 更新中は電源（電池・AC 電源）を切らないでください。途中で止まると、本体に不具合が出るおそれがあります。

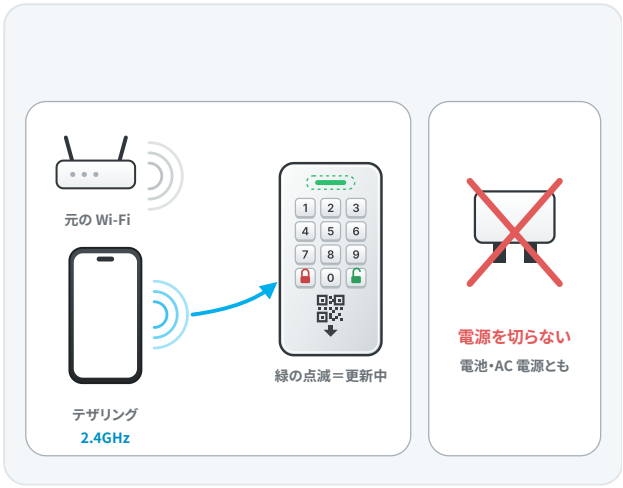


1.3 更新が終わらないとき

緑の点滅がいつまでも続く場合は、Wi-Fi 環境との相性で進まないことがあります。原因を切り分けるため、スマートフォンのテザリング（2.4GHz）や別の Wi-Fi に一時的に切り替えて、更新をやり直します。

1. QR1 がつながるのは 2.4GHz の Wi-Fi だけです（5GHz・バンドステアリングは使えません）。
2. ルーターで MAC アドレスによる接続制限をしている場合は、一時的に解除します。
3. 別の Wi-Fi で更新できた場合は、元の Wi-Fi 環境に原因がある可能性が高いので、ネットワークの設定を見直します。

> ⓘ **補足** ネットワーク管理者向けの接続先（許可が必要な通信）は、サポート（support.keyvox.co）にお問い合わせください。



---

2 STEP 02 電池残量を確かめる

QR1 LE は単三アルカリ乾電池 4 本で使えます。新品の電池で、1 日 10 回の開閉と 1 日 1 回のクラウド同期なら約 6 か月使えます。

2.1 電源が入っているか確かめる

電池を入れたあと、本体のテンキーを押して音が鳴れば電源が入っています。

2.2 アプリまたは BACS で残量を見る

1. KEYVOX Basic では、ロックの画面の「バッテリー」タブで確かめます。
2. KEYVOX 管理画面（BACS）では、デバイスの詳細で確かめます。

> **補足** 残量が更新されるのは、QR1 LE がインターネットにつながってクラウドと同期したときです。同期が 6 時間に 1 回の設定なら、6 時間ごとに更新されます。



2.3 残量が減ったときの知らせ

1. BACS の「設定」>「各種メール設定」>「ロックのバッテリー残量通知」を設定すると、残量が 20% を下回ったときにメールが届きます。
2. 本体は、残量が 20% を下回った状態で解錠すると、解錠のあと LED が一定時間赤く点滅します。
3. 知らせが出たら、新しい単三アルカリ乾電池 4 本に交換します。

> **補足** メール通知はロックごとには設定できません。ペアリングしているすべてのロックが対象になります。



STEP 03

3 本体のキーで行うコマンド

🔓 は QR1 本体の緑の解錠ボタン、🔒 は赤の施錠ボタンです。キーは確実に押してください。うまくいかない場合は 2〜3 回試します。

3.1 基本の操作

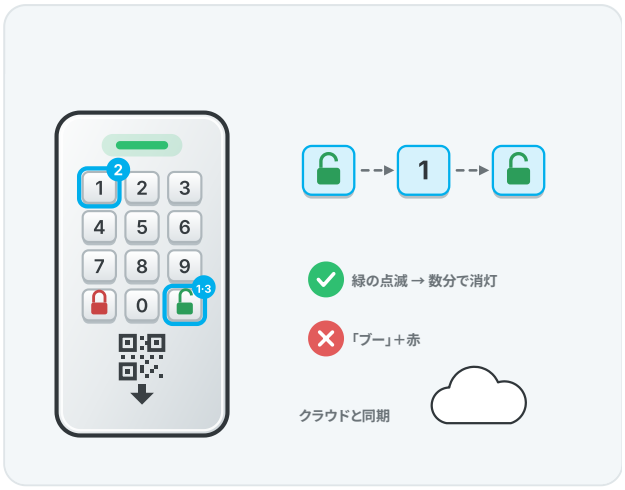
1. 解錠（暗証番号）: 暗証番号 + 🔓
2. 解錠（QR コード）: 本体下部のカメラにカギの QR コードをかざします。暗い場所では明かりを足すと読み取りやすくなります。
3. 施錠: 🔒

3.2 クラウドと強制同期する（🔓1🔓）

🔓 →「1」→ 🔓 と押すと、同期のタイミングを待たずにインターネットに接続し、管理画面と本体の情報（オンライン暗証番号・QR コードなど）を相互に反映します。

1. 成功: 緑の LED が点滅し、数分で消えます。
2. 失敗: 最後に「ブー」と鳴り、赤い LED が点きます。

> ⚠ **注意** 同期はすぐに反映されます。押し間違いに注意してください。

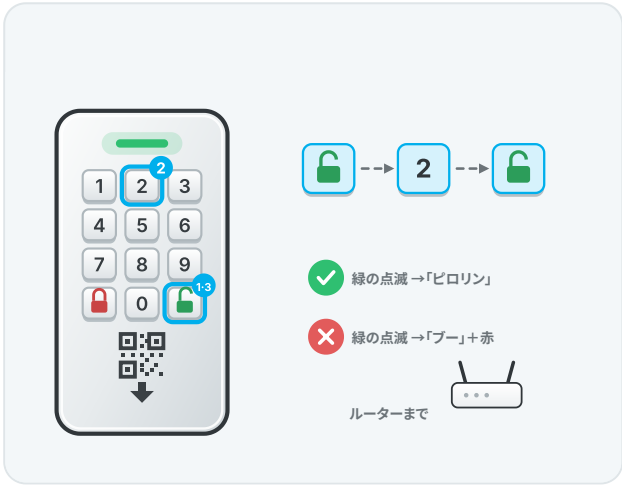


3.3 ルーターとの接続を確かめる（🔓2🔓）

🔓 →「2」→ 🔓 と押すと、QR1 からルーターまでつながっているかを確かめます。

1. 接続: 緑の LED が点滅し、「ピロリン」と鳴ります。
2. 未接続: 緑の LED が点滅したあと「ブー」と鳴り、赤い LED が点きます。Wi-Fi の情報の誤りや、ルーターの電源が切れていることが考えられます。

> ℹ **補足** 確かめるのはルーターまでです。ルーターからインターネットにつながっているかは、このコマンドではわかりません。



CHAPTER 12

12 交換・削除・初期化

QR1 本体や接続しているロックを交換するときの手順と、QR1 のペアリングの削除、本体設定の初期化（リセット）をまとめます。交換すると新しいデバイスとして登録されるため、KEYVOX 管理画面「BACS」の設定はし直しが必要です。

アプリ設定 | QR1 LE | PiACK II Smart | BR1 電気錠モジュール | WD1 有線LANモジュール | BX1 キーボックス

用意するもの

- スマートフォン（KEYVOX Basic）
- パソコン（KEYVOX 管理画面「BACS」）

始める前に

- QR1 の管理者暗証番号（再ペアリングに必要です）
- 交換前の設定の控え（つないでいるロックの種類、BACS の設定とドアとの紐づけ、KEYVOX Basic の本体設定）

STEP 01

1 始める前に

KEYVOX のデバイスの保証期間は購入から 1 年です。故障で交換するときや、経年劣化で買い替えるときに、この手順で再ペアリングします。

1.1 QR1 につなげるロック

QR1 LE には PiACK II、BCL-BR1、BCL-WD1、BCL-BX1、セサミをペアリングできます。交換するのが QR1 本体か、つないでいるロックかで手順が分かれます。

> **補足** 交換の前に、つないでいるロックの種類、BACS の設定とドアとの紐づけ、KEYVOX Basic の本体設定を控えておくことをおすすめします。

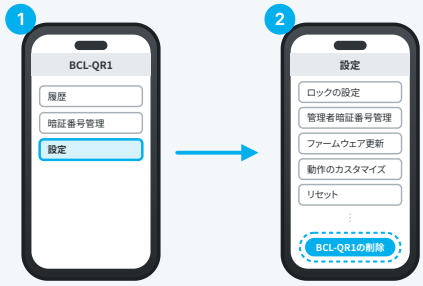
STEP 02

2 QR1 のペアリングを削除する

QR1 をアカウントから外します。本体の交換や、別の場所での再利用の前に行います。

2.1 「BCL-QR1の削除」を押す

1. KEYVOX Basic で、対象の QR1 の「・・・」(⋮) を押します。
2. 「設定」を押します。
3. いちばん下の「BCL-QR1の削除」を押し、画面の案内に従って削除します。



> ⚠ **注意** 削除しても QR1 本体の設定は初期化されません。初期化して再利用する場合は、削除の前に「本体設定を初期化する」の手順を行ってください。

2.2 ロックの削除を求められたとき

つないでいるロックによっては、削除のときに「先に連携先スマートロックを削除する」よう案内が出ます。その場合は、案内に従って先にロックを削除してから、QR1 を削除します。

STEP 03

3 本体・ロックを交換する

交換するものに合わせてタブを選びます。

設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN QR1 本体を交換する

3.A1 交換の流れ

旧本体の削除 → 新しい本体の登録 → ロックの再ペアリング → BACS の設定し直し → 動作確認、の順に進めます。



3.A2 旧本体のペアリングを削除する

「QR1 のペアリングを削除する」の手順で、旧本体をアカウントから外します。

3.A3 新しい本体を登録する

1. 新しい QR1 を取り付け、電源とネットワークにつなぎます。
2. KEYVOX Basic で QR1 をアカウントに登録し、画面の案内に従って管理者暗証番号を設定します。

3.A4 ロックをもう一度ペアリングする

本体を交換すると、これまでつないでいたロックとのペアリングは外れます。ロック本体の交換は不要です。新しい QR1 の登録の流れの中で、同じロックをペアリングし直します。

3.A5 BACS の設定をし直す

交換した本体は新しいデバイスとして登録されるため、ペアリングしただけでは BACS の設定は引き継がれません。本体の設定と、ドアとの紐づけ（どのドアのデバイスか）を、交換前と同じ内容に設定し直します。

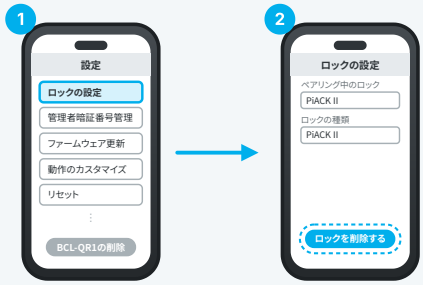
3.A6 動作を確かめる

ロックの施錠・解錠と、暗証番号での解錠ができることを確かめます。

B PATTERN つないでいるロックを交換する

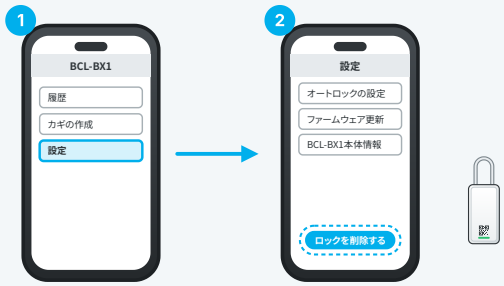
3.B1 旧ロックのペアリングを削除する（BX1 以外）

1. QR1 の「･･･」（⋮）から「設定」を押します。
2. 「ロックの設定」を押します。
3. 「ロックを削除する」を押し、画面の案内に従って進めます。



3.B2 旧ロックのペアリングを削除する（BX1）

1. BCL-BX1 の「･･･」（⋮）から「設定」を押します。
2. 「ロックを削除する」を押し、画面の案内に従って進めます。



3.B3 新しいロックを取り付ける

故障したロックを取り外し、新しいロックを取り付けます。取り付け方は**PiACK II の取り付け（本締錠）電気錠・自動ドアに BR1 をつなぐ電気錠・自動ドアに WD1 をつなぐBX1 キーボックスの設置**のうち、該当する機器のガイドを参照してください。

3.B4 新しいロックをペアリングする

1. QR1 の「設定」＞「ロックの設定」を開きます。
2. 「ロックとのペアリングを行う」を押します。
3. 「ペアリングするロックを選択してください」で、ロックの種類を選びます。
4. 画面の案内に従ってペアリングします。



3.B5 動作を確かめる

ロックの施錠・解錠と、暗証番号での解錠ができることを確かめます。

> **補足** 交換したロックも新しいデバイスとして登録されます。BACS の設定は引き継がれないので、交換前と同じ内容に設定し直してください。

STEP 04

4 本体設定を初期化する（リセット）

QR1 本体の設定を出荷時の状態に戻します。ファームウェアと、アプリとのペアリング情報は残ります。

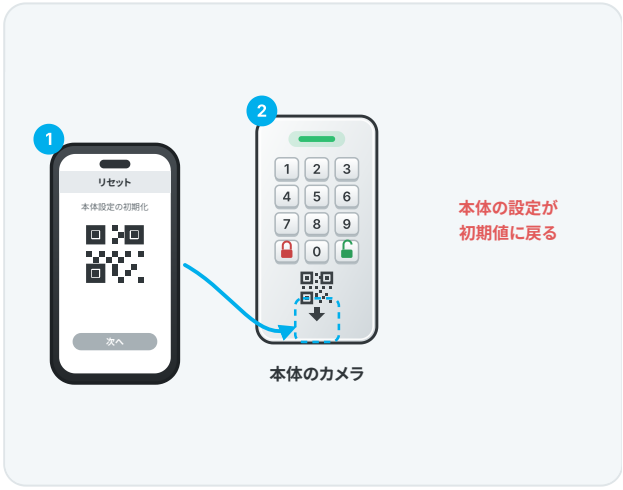
4.1 管理者暗証番号を忘れたとき

管理者暗証番号がわからなくなった場合は、まず KEYVOX サポート（support.keyvox.co）にご相談ください。

> **注意** ご自身で初期化して再設定することもできますが、本体の設定がすべて初期値に戻り、ロックとのペアリングもやり直しになります。アプリから QR1 をすでに削除している場合は、管理者暗証番号がないと再ペアリングできません。

4.2 初期化の QR を本体で読み取る

1. QR1 の「・・・」（⋮）から「設定」を押します。
2. 「リセット」＞「BCL-QR1本体設定のリセット(初期化)」を押します。
3. 表示された QR コードを、QR1 本体のカメラにかざします。



> **注意** 初期化すると、管理者暗証番号は初期の管理者暗証番号（納品時のご案内に記載）に戻り、ロックとのペアリングも外れます。続けて使う場合は、管理者暗証番号の変更とロックとのペアリングをやり直してください。

4.3 初期化のあとに確かめる

1. 管理者暗証番号を新しい番号に変更します。
2. ロックとペアリングし直します。
3. ロックの施錠・解錠と、暗証番号での解錠ができることを確かめます。

4.4 BR1 の管理者暗証番号

QR1 の削除や初期化をしても、BCL-BR1 の管理者暗証番号は初期化されず、そのまま残ります。BR1 の管理者暗証番号がわからない場合は、BR1 の物理リセットスイッチを 5 秒押すと初期値に戻ります。

APPENDIX — FAQ

よくある質問

導入の前に

Q QR1 LE とつなげられる機器を教えてください。

QR1 LE は扉の入口になる機器で、扉の種類に合わせて次の機器とつないで使います。

- BR1（電気錠モジュール）：Bluetooth でつなぎ、電気錠・自動ドアを制御します。
- WD1（有線LANモジュール）：専用の USB Type-C ケーブルでつなぎ、電気錠・自動ドアの制御と有線LANでの通信を行います。
- PiACK II Smart：美和ロック製のサムターンユニットです。Bluetooth でつなぎます。
- BX1（ロックボックス）：物理鍵を収めるキーボックスです。QR1 LE 1 台で複数の BX1 を操作できます。
- セサミ：CANDY HOUSE 製のスマートロックです。Bluetooth でつなぎます。

参照：設置前の確認／QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐ／QR1 LE とセサミをつなぐ

Q QR1 LE は乾電池で何か月使えますか？

1 日 10 回ほどの開閉、6 時間に 1 回の同期という設定で、単三電池 4 本で最長 6 か月が目安です。電池で使う場合はインターネットに常時接続しないため、管理画面からの遠隔解錠と、リアルタイムの履歴の取得は使えません（AC アダプターで給電し、常時接続にした場合に使えます）。

参照：インターネットにつなぐ（Wi-Fi・同期の設定）／日常の保守（ファームウェア・電池・本体コマンド）

Q オンライン QR コードとオフライン QR コードは何が違いますか？

オンラインはクラウドから QR1 に配信するカギ、オフラインは QR1 と通信せずに計算で作るカギです。どちらも解錠の瞬間にインターネットは要りません。利用回数（1 回限りなど）では制限できず、利用できる時間で制御します。オフラインは QR1 の時計が合っている必要があり、発行後に取り消せないため、ご利用の直前にお渡しするなどの工夫をしてください。

	オンライン QR コード	オフライン QR コード
しくみ	クラウドから本体へ配信	計算で生成（本体と通信しない）
作成時のインターネット	配信に必要	原則不要
使えるようになるまで	数分	すぐ
作れる数	1 台あたり 1,000 個まで	制限なし
時間の変更・キャンセル	できる	できない
無期限のカギ	作れる	作れない

参照：カギを配る（アプリ・ロッカー・予約）

Q 機器の保証期間はいつまでですか？

ブロックチェーンロックまたは販売店からのご購入日（出荷日）から 1 年間です。製品に同梱の保証書に記載の条件のもとで、郵送での交換にて対応します。機器の故障によって生じた、施工費用を含む直接・間接の損害については責任を負いかねます。保証規定と免責事項の詳細は、同梱の保証書をご確認ください。

Q 取り付け前に、現地を見に来てもらえますか？

導入前の現地でのお打ち合わせ・訪問・立ち会いは行っていません。ご検討中は Zoom でご案内します。お取引のある施工店・工務店があれば、まずそちらにこのマニュアルを見せてご相談ください。KEYVOX に現地調査を依頼される場合は有料となり（調査後のご発注の有無にかかわりません）、施工のご依頼は現地調査のあとに承ります。お申し込みはサポートまでご連絡ください。

参照：**設置前の確認**

Q アプリが使えるスマートフォンを教えてください。

iPhone（iOS）15.0 以上、Android 9.0 以上での動作を推奨しています。安定して動かすため、古い機種は対象外とすることがあります。機器の初期設定とオーナーご自身の解錠には「KEYVOX Basic」を使います。アカウント登録では SMS で認証コードを受け取ります。SMS を受け取れない番号（050 で始まる番号など）の場合は、Google アカウントまたは Apple ID でログインしてください。

参照：**KEYVOX Basic を準備する**

解錠できないとき

Q 正しい暗証番号・QR コードなのに解錠できません。何から確かめればよいですか？

解錠は「① QR1 がカギの正しさを判定する（認証）」「② つないだ機器が実際に開ける（解錠）」の 2 段階です。どちらで止まっているかを先に確かめると、見る場所が決まります。現地では、暗証番号を入れて緑の解錠ボタンを押した直後の QR1 の LED と音で分かります。離れた場所からは、WEB 管理画面の「履歴」のエラーメッセージで確かめます。

QR1 の LED と音	状態	確かめること
赤点灯＋エラー音	認証で止まっている	カギが違う・有効期限切れ・本体に同期されていない
緑点滅 → 赤点灯＋エラー音	認証は成功、解錠で失敗	つないだ機器との接続が切れている
短く緑点灯 → 赤点灯	認証は成功、解錠で失敗	BR1 の管理者暗証番号が変更されていない
数回の赤点灯で受け付けない	ロックアウト中	5 分待つ（続けて間違えると一時的に止まります）
点灯しない・音もしない	電源が入っていない	AC アダプター・電池

- 管理画面の「設定」→「デバイス」→ 該当の機器の「詳細」→「最新情報を取得」で、カギに「同期日時」が入っているかを確かめます。空欄のカギは本体に届いていないので解錠できません。
- すぐに同期させるには、QR1 本体で「緑の解錠ボタン → 1 → 緑の解錠ボタン」を押します（クラウドとの強制同期）。
- オフライン QR コード・オフラインの暗証番号・本体に直接登録した暗証番号・管理者暗証番号は、管理画面の一覧に出ないのが正常です。

参照：**設置後の動作確認**／**日常の保守（ファームウェア・電池・本体コマンド）**

Q キーパッドを押しても QR をかざしても、赤い LED が点滅して受け付けません。

続けて認証に失敗したため、不正な解錠を防ぐ「ロックアウト」になっています。初期設定では 7 回続けて間違えるとロックアウトになり、5 分たつと自動で解除されます（5 分という時間は変えられません）。ロックアウトまでの回数は KEYVOX Basic で変更でき、オフにすることもできます。

参照：**QR1 の本体設定を変える**

Q QR1 から PiACK II が解錠できません。

Bluetooth の接続が切れている可能性があります。設置環境や距離、周りの Bluetooth 機器との干渉で切れることがありますが、通常は自動でつながり直します。急ぐとき、または戻らないときは次を順に試してください。

- 物理鍵などで室内に入り、PiACK II の電池を抜いて 10 秒ほど待ち、入れ直します。1 分ほどでつながり直します。
- 直らないときは、KEYVOX Basic で QR1 の「ロックの設定」→「ロックを削除する」を行い、もう一度ペアリングします（手順は初回と同じです）。

参照：**QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐ**／**交換・削除・初期化**

Q PiACK II Smart からブザー音が鳴ります。

PiACK II は、LED の表示とブザーの鳴り方で状態を知らせます。製品に同梱の取扱説明書の「LED 表示・ブザー鳴動による状態通知一覧」で、鳴り方に合う状態をご確認ください。

参照：**PiACK II の取り付け（本締錠）**

Q QR1 と BR1 の Bluetooth 接続が切れます。

接続が切れると、暗証番号・QR コード・遠隔解錠のすべてが使えなくなります（物理鍵や施設側の解錠手段だけが使えます）。BR1 の LED が緑の点滅なら切断、緑の点灯なら正常、消灯なら電源が入っていません。主な原因は電波が届いていないことです。一時的な切断は自動でつながり直すので、くり返す場合は設置環境を見直してください。

- 数分待ちます。30 分待っても戻らないときは次へ進みます。
- BR1 の AC アダプターと、QR1 の給電・電池残量を確かめます。
- BR1 の AC アダプターを抜き、30 秒待って挿し直します。
- 距離を近づけます（見通し 2m 以内が目安）。扉・壁・金属の分電盤が間に入らない位置に置きます。
- BR1 は QR コードが印字されている面を QR1 に向けて設置します。
- 直らないときは再ペアリングします（設定した BR1 の管理者暗証番号が必要です）。
- ファームウェアを最新にします。信号強度は -70dBm 以上が目安です。

参照：**電気錠・自動ドアに BR1 をつなぐ**／**QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐ**

Q QR1 とセサミの Bluetooth 接続が切れます。

扉の厚みや材質によって、Bluetooth が不安定になることがあります。次の 3 点を確かめてください。

- QR1 のファームウェアを最新にします（動作を安定させる更新が出ていることがあります）。
- セサミのアプリから問題なく開閉できるかを確かめます。できないときは、セサミの電池を新品に交換します。
- セサミのアプリに Bluetooth の送信出力を調整する設定がある場合は、出力を最大に上げます。

参照：**QR1 LE とセサミをつなぐ**／**日常の保守（ファームウェア・電池・本体コマンド）**

Q 鍵が開かなくなったとき、当日に来てもらえますか？

オンサイト保守契約（オプション）をご用意していますが、当日の駆けつけには対応していません。電池切れや通信の不調に備えて、物理鍵などの非常用の解錠手段を必ずご用意ください。

インターネット・同期

Q QR1 LE が Wi-Fi につながりません。

まず Wi-Fi ルーターの電源を抜き、30 秒ほど待って入れ直してください。次に、スマートフォンのテザリング（2.4GHz）でつながるかを試します。テザリングでつながる場合は、お使いのネットワーク環境に原因があります。Wi-Fi が切れたときは QR1 が自動でつなぎ直すので、ルーターの再起動のような一時的な不調は数分で戻ります。

- SSID とパスワードが正しいか（大文字・小文字、余分な空白、0 と O・1 と l の取り違え）。
- 2.4GHz 帯の Wi-Fi か。5GHz 帯にはつながりません。2.4GHz と 5GHz で同じ SSID を使う設定（バンドステアリング）は避け、2.4GHz 専用の SSID を用意します。
- パスワードは 31 文字以内か。SSID・パスワードは半角の英数字と記号にします。
- QR1 の位置で信号強度が -70dBm 以上あるか（QR1 はキーパッド側で電波を受けます）。
- ルーターの接続台数の上限、接続端末の制限、MAC アドレスの制限に当たっていないか。
- WPA2-Enterprise、プロキシが必須のネットワーク、ブラウザでの認証が要る公共 Wi-Fi にはつながりません。企業のネットワークで通信を制限している場合は、サポートへご相談ください。
- QR1 本体で「緑の解錠ボタン → 2 → 緑の解錠ボタン」を押すと、ルーターまでつながっているかを確かめられます（緑＝つながっている、赤＝つながっていない）。

参照：**インターネットにつなぐ（Wi-Fi・同期の設定）**

Q WD1（有線LAN）でインターネットにつながりません。

WD1 の緑と青の LED で、どこを確かめるかが決まります。ケーブルやルーターを直したあと、つながるまで最大 5 分かかります。

WD1 の LED	意味	確かめること
緑・青とも消灯	電源が入っていない	付属の AC アダプターまたは PoE と、QR1 LE との専用 USB Type-C ケーブル
緑がゆっくり点滅	QR1 LE とペアリングされていない	再ペアリング（リセットボタンを長押しするとペアリングが消えます）
緑が速く点滅	ファームウェアの更新中など	終わるまで待つ
緑点灯・青点滅	サーバーにつながっていない	LAN ケーブル（別のケーブル・ポートも試す）、ルーターの再起動
緑点灯・青点灯	正常	管理画面がオフラインのままなら、QR1 本体で強制同期

- QR1 LE と WD1 をつなぐ USB Type-C ケーブルは専用品です。市販のケーブルは使えません。
- PoE は Type 2〜4 に対応しています（Type 1 は非対応）。LAN ケーブルはカテゴリー 5e 以上を使います。
- 先に Wi-Fi を設定していると有線LANが使われません。KEYVOX Basic の「インターネット接続設定」で Wi-Fi の設定を削除してから、「有線LANでインターネットに接続する」を選び直します。
- ペアリング済みで届いた機器が管理画面に表示されている場合は、むやみにペアリングをやり直さないでください。

参照：**電気錠・自動ドアに WD1 をつなぐ**／**QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐ**

Q 発行したカギが QR1 に同期されません。

Wi-Fi の同期頻度を「同期しない」「○時間ごと」にしていると、カギは次の同期のタイミングまで本体に届きません。AC アダプターで給電しているなら「常時接続」、電池なら「6 時間ごと」などにします。本体設定の「カギがない場合はクラウドに問い合わせる」をオンにすると、同期の前でも、入力されたカギをその都度クラウドに確かめて解錠できます（誤入力やいたずらが多い場所では電池の消耗が早くなります）。

- すぐに同期させるには、QR1 本体で「緑の解錠ボタン → 1 → 緑の解錠ボタン」を押します。
- 発行した直後は、本体に届くまで数分かかります。
- 予約と機器の関連付け、予約の日時が合っているかを確かめます。
- 1 台に登録できるカギ（オンラインの暗証番号・QR コード）は 1,000 個までです。上限に達したら、終わった予約のカギや使わないアクセス権を削除します。
- ファームウェアが最新か、インターネットにつながっているかを確かめます。

参照：**インターネットにつなぐ（Wi-Fi・同期の設定）**／**日常の保守（ファームウェア・電池・本体コマンド）**

Q アプリから QR1 の設定をするとエラーになります。

管理者暗証番号の変更が最後まで終わっていない可能性があります。設定用の QR コードを QR1 に読み取らせたあと、緑の LED を確かめてから、アプリで必ず「次へ」を押してください。「次へ」を押さないと設定が保存されず、そのあとの操作がすべてエラーになります。

参照：**QR1 をアカウントに登録する（管理者暗証番号の設定）**

設定と日々の運用

Q 「ロックの更新に失敗しました」というメールが届きました。

カギの情報を機器に届けられなかったときの通知です。原因はインターネットの切断か、Bluetooth の切断のどちらかで、メールの本文に書かれています。工事中などで通知が要らないあいだは、WEB 管理画面の「設定」→「各種メール設定」で止められます（配信の頻度と送信先もここで変えられます）。運用を始めたら必ずオンに戻してください。

切れているもの	影響	対処
インターネット	新しく発行したカギと遠隔解錠が使えない（発行済みのカギとオフライン QR コードは使える）	QR1 の位置で Wi-Fi の信号強度が -70dBm 以上になるように整える
Bluetooth	物理鍵以外では解錠できない	物理鍵で解錠し、再ペアリングする。くり返すなら設置環境を見直す

参照：インターネットにつなぐ（Wi-Fi・同期の設定）／QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐ

Q BX1 の電池残量が表示されません。

BX1 の電池残量は、主に開閉のときに取得します。残量が空欄・0% のまま、または更新されないときは、KEYVOX Basic か QR1 から一度解錠してください。

参照：BX1 をアプリで使う（KEYVOX Basic）

Q セサミのオートロックを使わずに運用できますか？

できます。セサミ側のオートロックをオフにした場合は、QR1 本体の左下の施錠ボタンで施錠します。QR1 LE とセサミのファームウェアが古いと正しく動かないことがあるので、どちらも最新にしてからお使いください。

参照：QR1 LE とセサミをつなぐ

SUPPORT

手順でわからないことは、
サポートまでご連絡ください。

取り付け後の確認のご依頼や、機器の動作でお困りのときも、サポートポータルからお問い合わせいただけます。

サポートポータル

お問い合わせ・取り付け確認のご依頼

support.keyvox.co

Web 版マニュアル

最新の手順・PDF のダウンロード

keyvox.co/manuals

・本書の内容は改訂日時点のものです。製品の改良により、仕様・画面・手順は予告なく変わることがあります。
・本書の図はイラストです。実際の製品と細部が異なる場合があります。
・記載の会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

keyvox
ブロックチェーンロック株式会社

KV-A00　REV. 2026.11.10
© 2026 ブロックチェーンロック株式会社